MSD41－42010/11
フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度は MODELLISTA フロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、 取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、 正しい取り付け、 取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備　考
MSD41-42010-A1	ﾌﾟﾗﾁﾅﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙﾏｲｶ(089)	RAV4	
MSD41-42010-C0	ｱﾃｨﾁｭｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ(218)		
MSD41-42011-NP	未塗装品		

※MODELLISTA シグネチャーイルミ（MSD12-42003）を同時装着する場合は、
　シグネチャーイルミを先に取り付けてください。

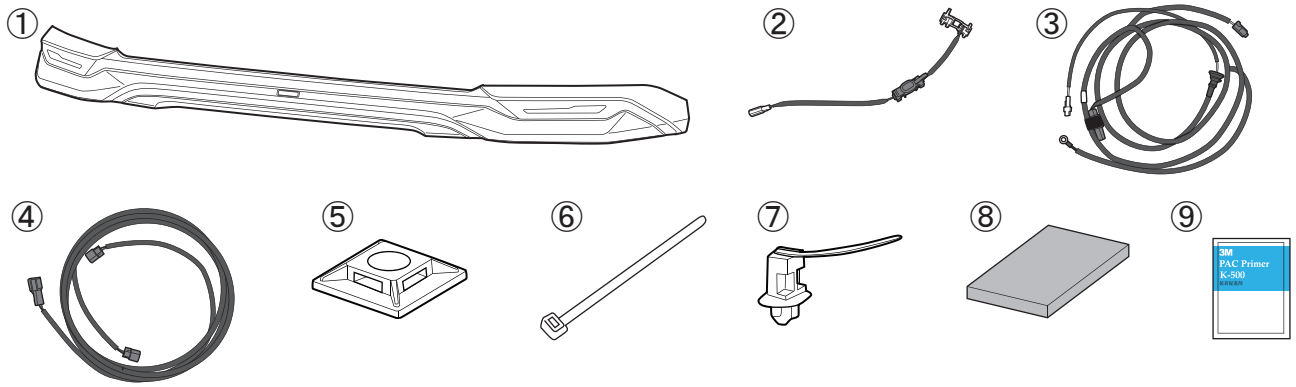
・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。 https://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品

No.	品　名	品　番	個数	備　考
①	フロントスポイラー	―――	1	
②	ハーネスA	―――	1	車内用
③	ハーネスB	―――	1	中間部用
④	ハーネスC	―――	1	フロントバンパー用
⑤	結束バンドベース	―――	5	・フォグ有り：1個使用 ・フォグ無し：5個使用
⑥	結束バンド	―――	28	・塗装品：26本使用 ・NP：28本使用
⑦	ハーネスクランプ	―――	3	
⑧	クッション	―――	2	
⑨	PAC プライマー（青袋）	08867-00230	1	K-500

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



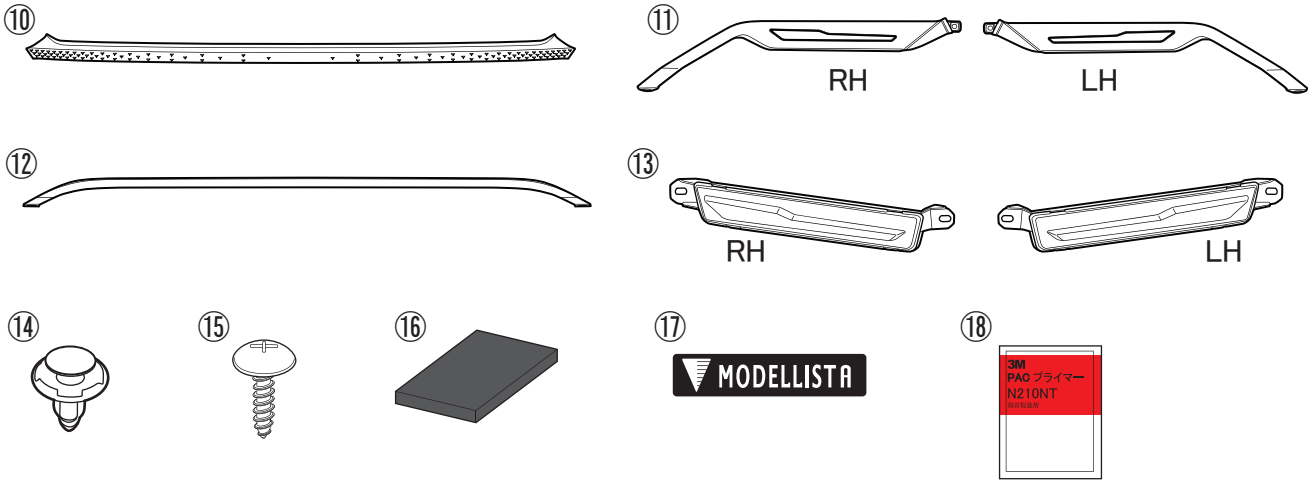
■ 構成部品

以下、 MSD41-42011-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品　名	品　番	個数	備　考
⑩	CTR ガーニッシュ	―――	1	
⑪	SIDE ガーニッシュ（RH/LH）	―――	各1	
⑫	LWR ガーニッシュ	―――	1	
⑬	LED ユニット（RH/LH）	RH：MSD80-42H27 LH：MSD80-42H28	各1	
⑭	プッシュプルリベット	―――	4	4K2U
⑮	タッピングスクリュー	―――	14	M5×16
⑯	不織布テープ	―――	2	
⑰	MODELLISTA エンブレム	―――	1	
⑱	PAC プライマー（赤袋）	08867-00250	1	N210NT

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



■ リペアパーツセット（補給）

品　番	備　考
MSD80-42H26	⑭⑮⑱のセット同梱品
MSD80-42H29	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑯のセット同梱品

※本品は補給専用のため、 MSD41-42010/11 には付属しておりません。

※MSD80-42H29 を使用してハーネスを交換する場合は、②③④全てを交換するようにしてください。

取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ 本商品の装着により、タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。
洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないよう、ご注意ください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

⃠❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

⃠ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

⃠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

⃠ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

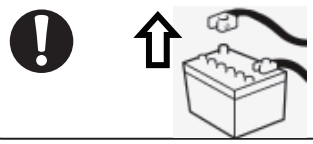
取り付けが終わったら

- 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- バッテリ復元作業終了後、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
  車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
  ※車両システムの初期化は、GTS等のツールが必要な場合があります。
- 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
  該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

フロントスポイラー配線取り付け上の注意事項

ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：Ｖ９６５０－０４８４　（耐熱ビニールテープ・灰色）

バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



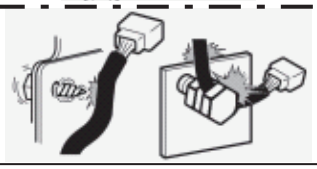
取り付ける前に

・ 作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



部品を取り付ける際は

・ 部品サイズにあった工具を使用する。

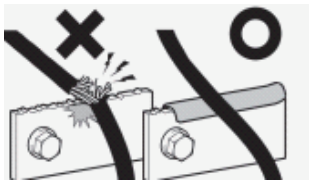


・ 部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、
断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

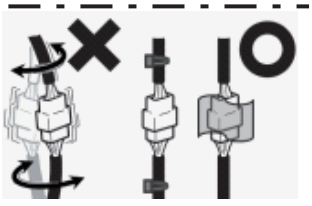
・ コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



・ バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



・ コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、
配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

・ 結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
・ 結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
・ カットした端末が、ほかの配線と接触しないようにする。
・ コネクターが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意

エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取り付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ エレクトロタップの接続方法

【使用上の注意】

（1） 車両のビニールチューブ等をカットする際は、 車両ハーネスを傷つけないように十分注意してください。

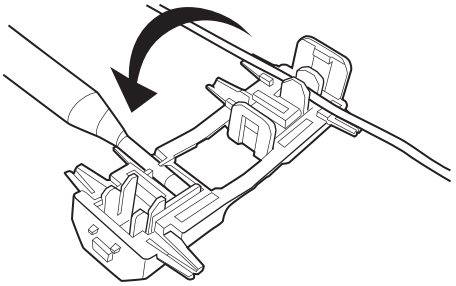
（2） 他の用品コネクターと重ならないように車両ハーネスに接続してください。

（3） 本書巻末の配線図を参考に接続するコネクターの端子番号および、 用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、 誤った接続をしないように十分注意してください。

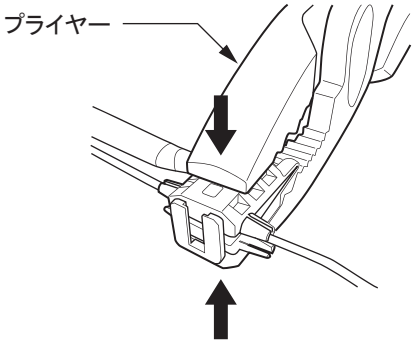
（4） 同一コネクターに複数のハウジングを接続する場合は、 接続位置をずらしてください。

（5） 一度使用したハウジングは再使用しないでください。 誤って接続した場合、 ハウジングを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、 ビニールテープで絶縁処理してください。

接続手順

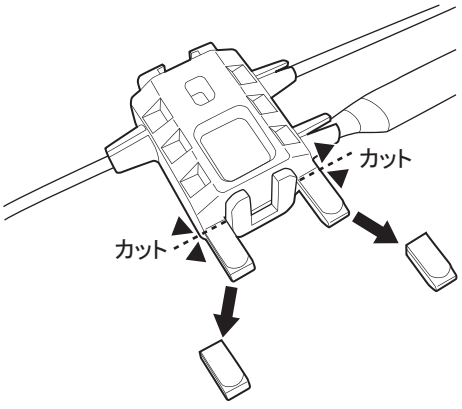


①電線をハウジングにまっすぐおき、 矢印の方向にたたみ重ねてください。
※接続する車両ハーネスがビニールチューブ、ビニールテープおよびコルゲートチューブで覆われている場合は、適量をカットしてください。



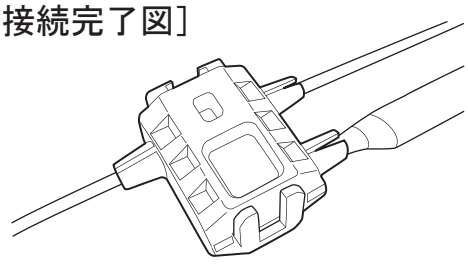
②プライヤーで左図のように挟んでハウジングの電線が収まることを確認しながらハウジング同士が接触するまで挟み込んでください。

③ロッキングが完全に働いていることを確認してプライヤーを外してください。



④ヒンジをカットしてください。

［電線接続完了図］



■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図、
リペアパーツセット（補給）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２．取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・３～４
３．フロントスポイラー配線取り付け上の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・５
４．エレクトロタップの接続方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
５．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・７
６．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８～１７
７．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
８．未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８～２７
９．配線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

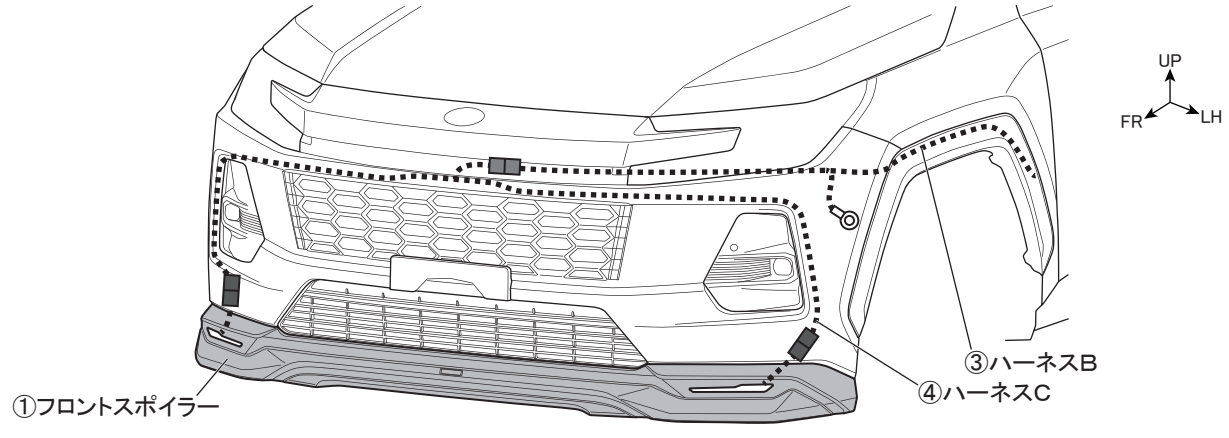
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

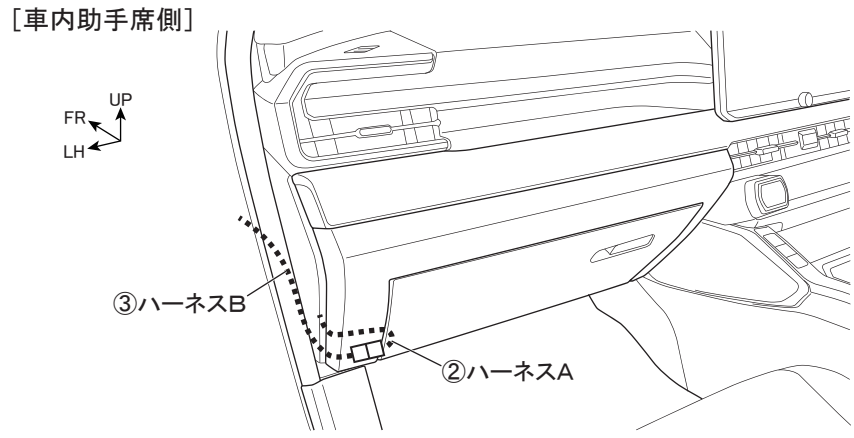
・一般工具
・加工用工具・保護メガネ
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、１年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図





■ 取付準備、 取付要領

※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

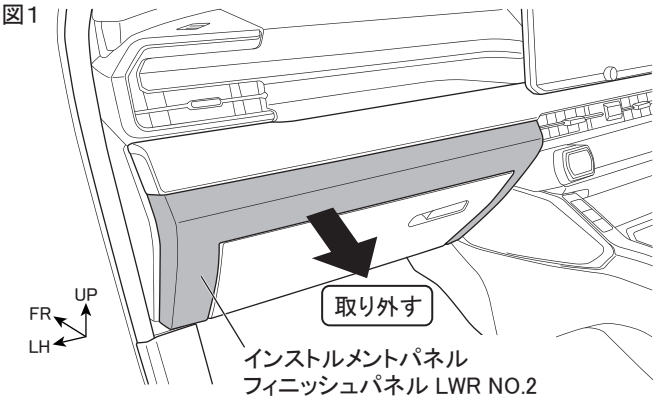
□フロントスポイラー取付準備

1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。

2. 該当車両の修理書に従い、 車両からフロントバンパ ASSY を取り外す。

⚠注意 : 取り外した車両部品、 車両スクリュー、 クリップ等は再使用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

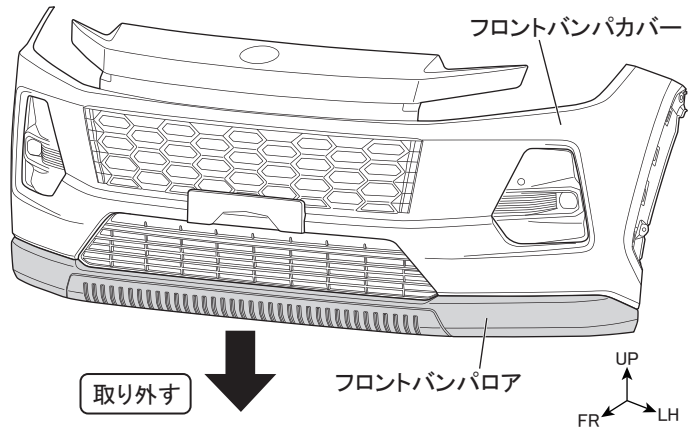
図1



3. 図1のように該当車両の修理書に従い、 助手席側の内装パネルを取り外す。

⚠注意 : 取り外した車両部品、 車両スクリュー、 クリップ等は再使用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

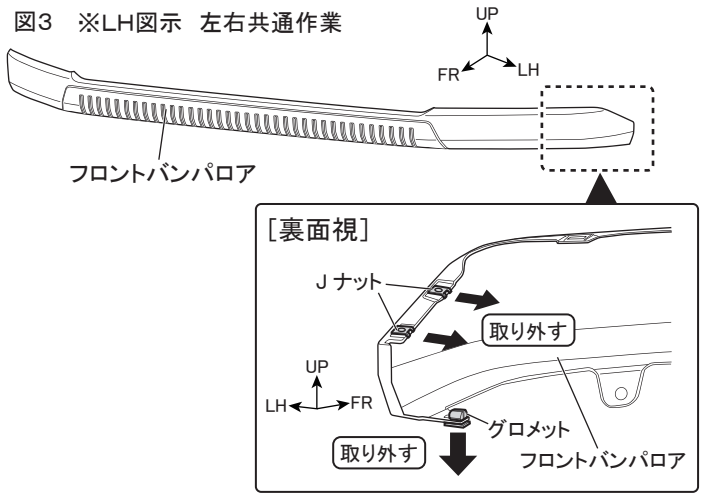
図2



4. 図2のように該当車両の修理書に従い、 フロントバンパ ASSY からフロントバンパロアを取り外す。

⚠注意 : 取り外した車両スクリュー、 クリップ等は再使用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

図3 ※LH図示 左右共通作業



5. 図3のように作業4. で取り外したフロントバンパロアから J ナット（左右各2箇所）、 グロメット（左右各1箇所）を取り外す。

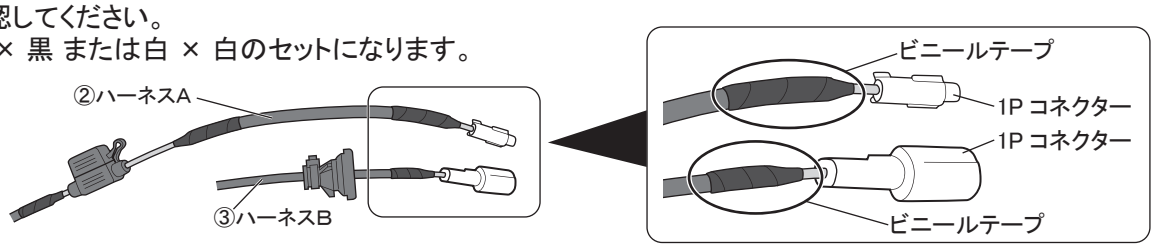
⚠注意 : 取り外した車両 J ナット、 グロメットは再使用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

⚠注意 : 取り外したフロントバンパロアは再使用しません。

□ハーネス配策作業 -1

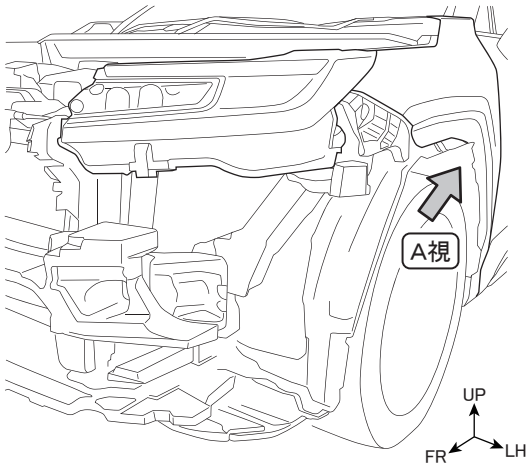
※MODELLISTA シグネチャーイルミ(MSD12-42003)を既に取り付けている車両は、□ハーネス配策作業 -1、-2 は不要です。
シグネチャーイルミ用ハーネスのダミーコネクタにフロントスポイラー灯体ハーネスを接続してください。

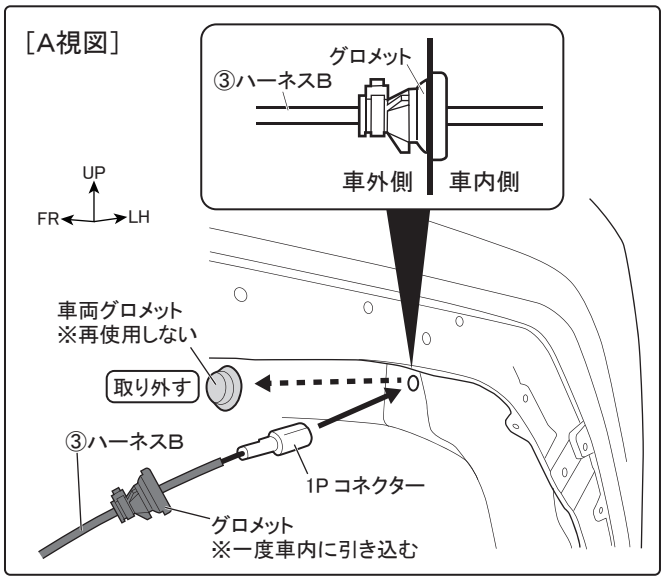
※ハーネスを取り付ける前に②ハーネスAと③ハーネスBの図示位置のビニールテープが同色であることを確認してください。
黒 × 黒 または白 × 白のセットになります。

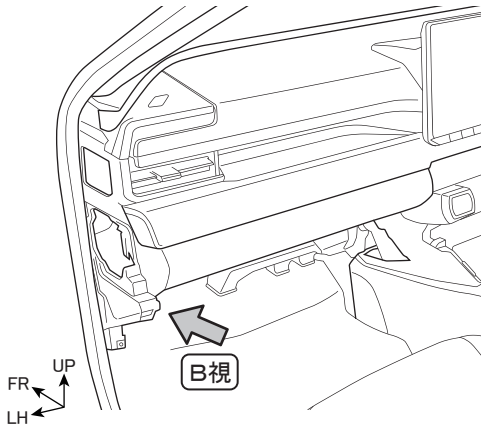


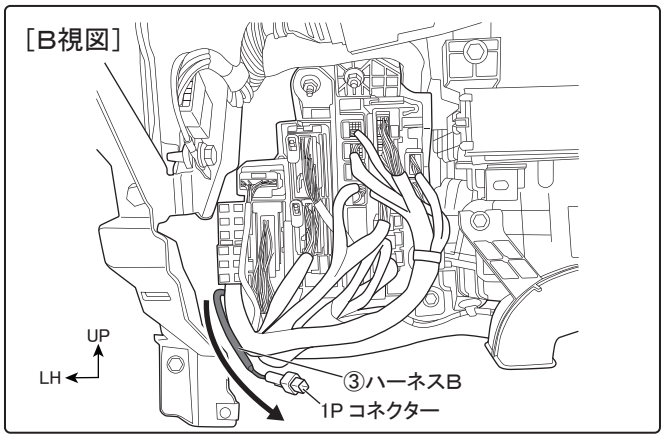
1. 図4のようにフロントフェンダーライナー LH をめくり、 フロントフェンダー内側から車両グロメットを取り外し、③ハーネスBの 1P コネクターを車内側へ引き込み、③ハーネスBのグロメットを一度車内側へ引き込み貫通穴に取り付ける。

図4　※LH側のみ作業









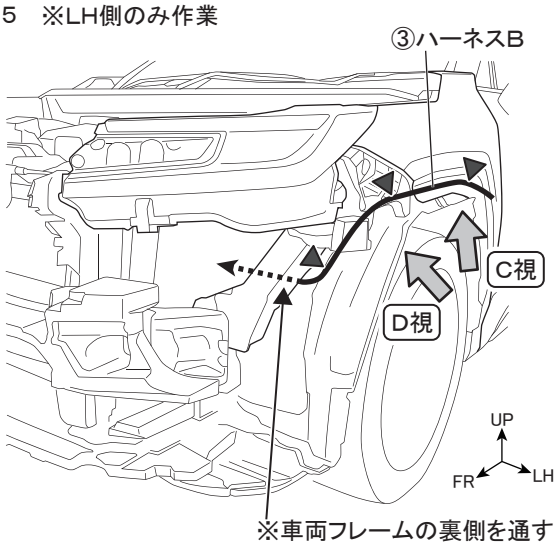
⚠注意 : 車両グロメットを車内側に落とさないよう注意してください。

アドバイス : ③ハーネスBの 1P コネクターを車内側へ引き込む際は、 ハーネス通しを使用すると作業が容易になります。

⚠注意 : ③ハーネス B の 1P コネクターが図示形状と違う場合があります。

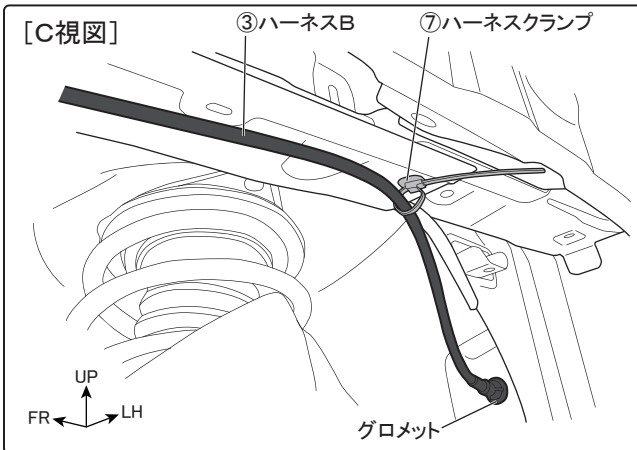
2. 図5のように③ハーネスBを配策し、 車両クランプ穴に⑦ハーネスクランプで仮固定する。（3箇所）

図5　※LH側のみ作業

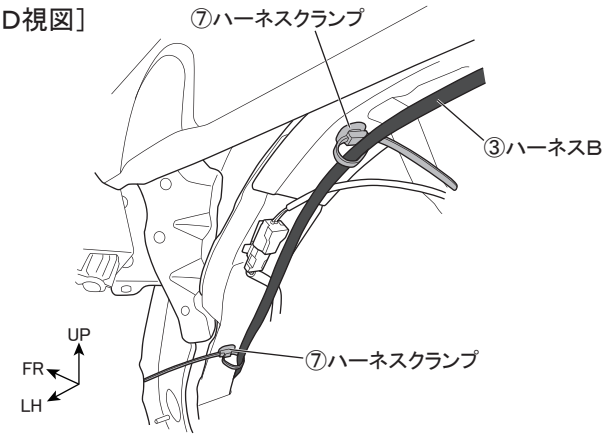


▲:⑦ハーネスクランプ　3箇所

［C視図］

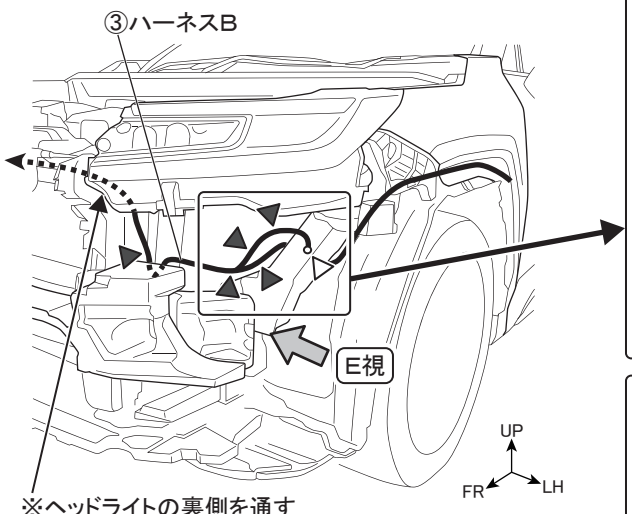


［D視図］



3. 図6のようにエンジンルーム内の車両ハーネスに沿わせて③ハーネスBを配策し、 丸端子を車両アースターミナルに取り付け（1箇所）、⑥結束バンドで仮固定する。（5箇所）

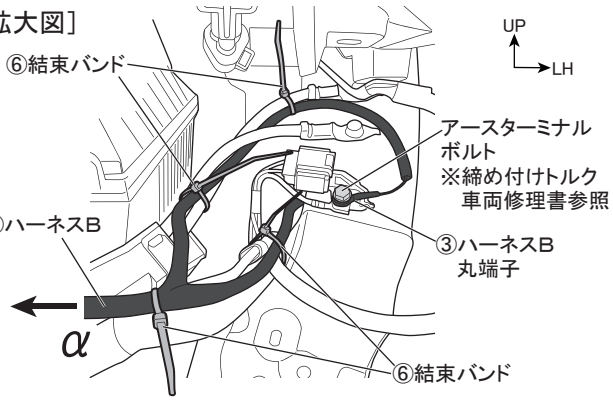
図6　※LH側のみ作業



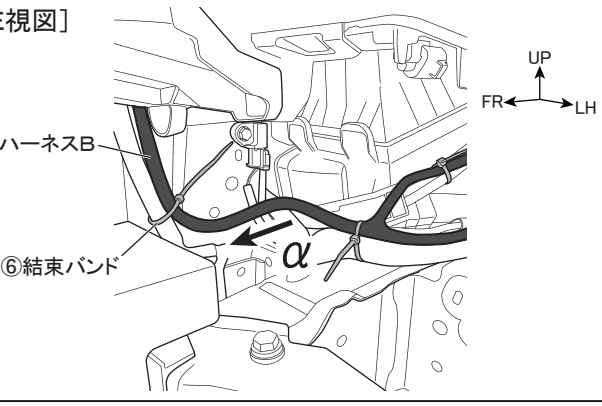
▲:⑥結束バンド　5箇所

△: 丸端子（アース）1箇所

［拡大図］

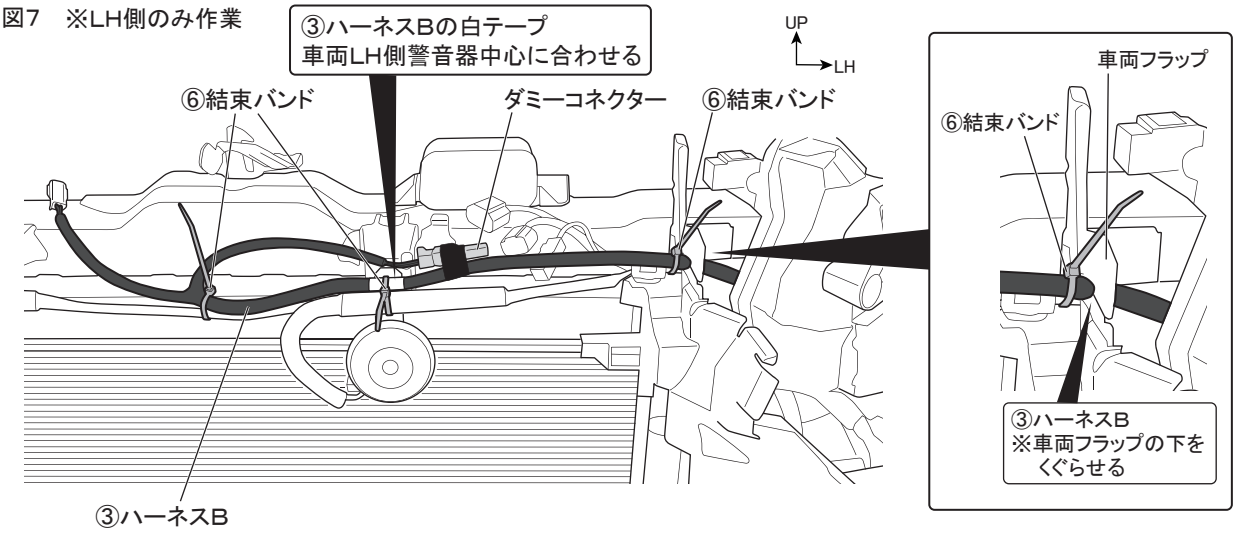


［E視図］



4. 図7のようにエンジンルーム内の車両ハーネスに沿わせて③ハーネスBを配策し、⑥結束バンドで仮固定する。（3箇所）

図7　※LH側のみ作業

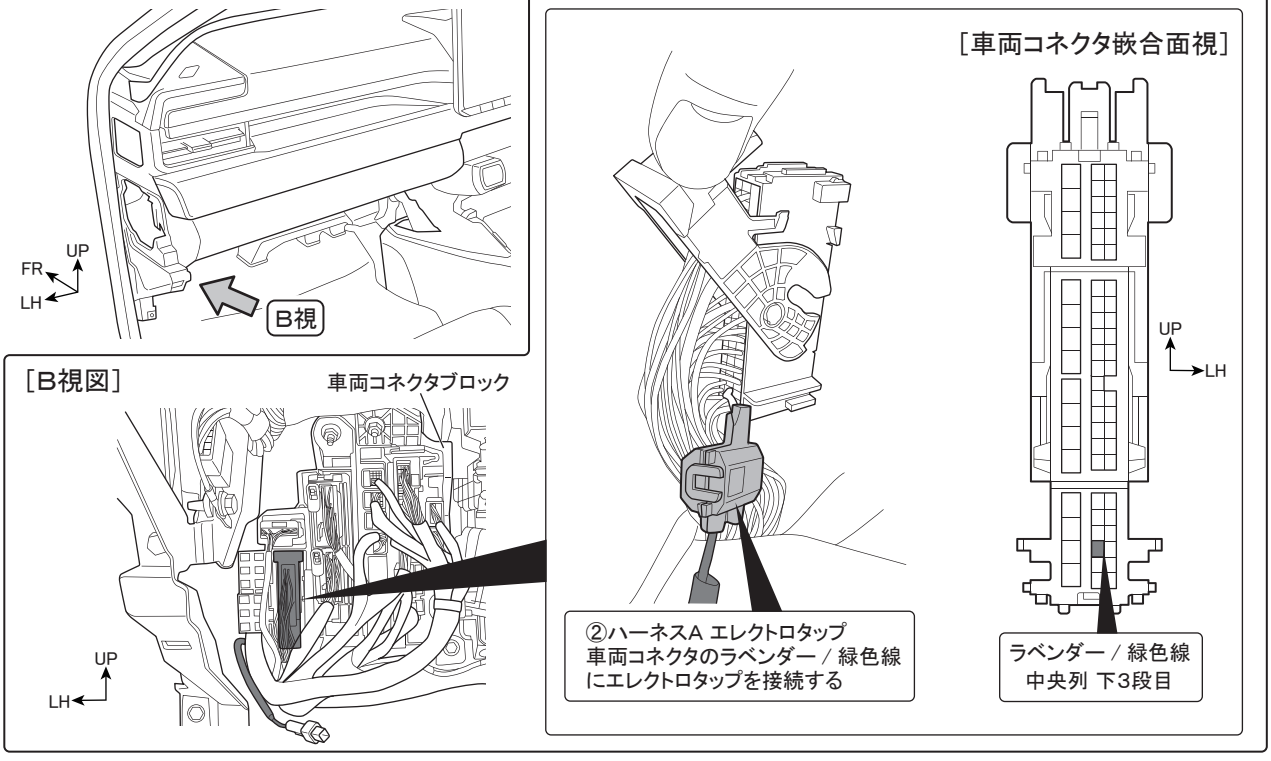


5. 作業 2.〜4. で仮固定した⑦ハーネスクランプ（3箇所）、⑥結束バンド（8箇所）を本締めする。

□ハーネス配策作業 -2

1. 図8のように車両室内助手席側インパネ裏側のコネクタブロックの車両ハーネスコネクターを取り外し、②ハーネスAのエレクトロタップを取り付け、ビニールテープを巻いて保護する。

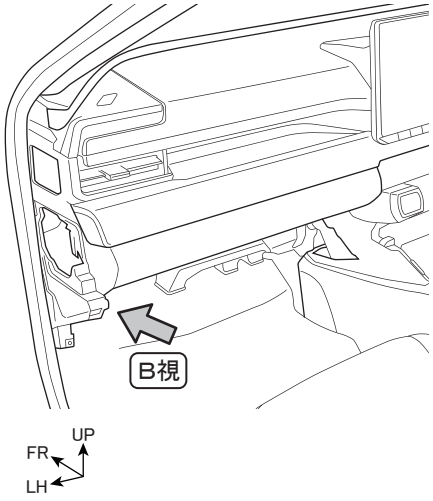
図8　※LH側のみ作業



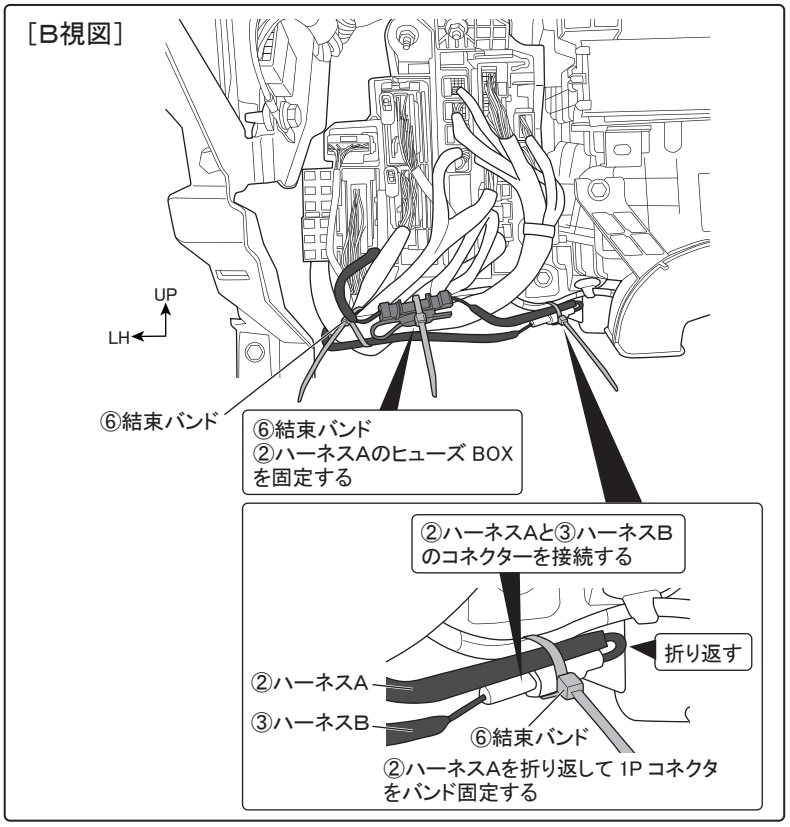
アドバイス：エレクトロタップを取り付ける際、コネクタブロックハーネスのビニールテープを剥がすと作業が容易になります。

2. 図9のように②ハーネスAの 1P コネクターを □ハーネス配策作業 -1 で車内側に引き込んだ③ハーネスBの 1P コネクターに接続し（1箇所）、②ハーネスAのヒューズボックスを⑥結束バンドで固定する。

図9　※LH側のみ作業



［B視図］



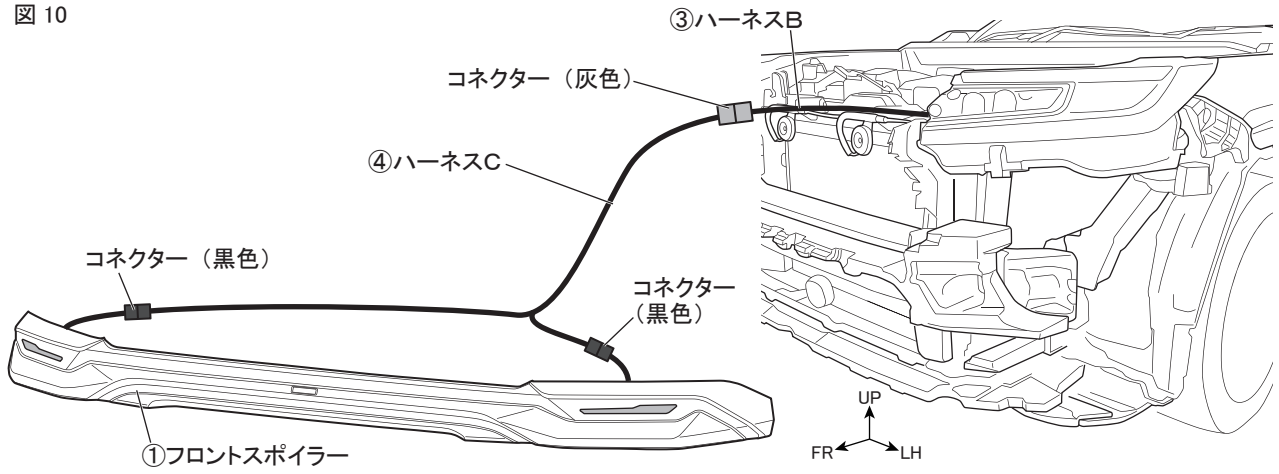
⚠注意 : ②ハーネスAの 1P コネクターおよび、ヒューズ BOX 形状が図示形状と違う場合があります。

□点灯確認

⚠注意 : 点灯確認の際、 車体および①フロントスポイラーを傷付けないようにしてください。

1. 図 10 のように □ハーネス配策作業 -1 で取り回したエンジンルーム中央の③ハーネスBの 2P コネクター（灰色）と④ハーネスCの 2P コネクター（灰色）を接続し（1箇所）、①フロントスポイラー LED の 2P コネクター（黒色）に④ハーネスCの 2P コネクター（黒色）をそれぞれ接続する。

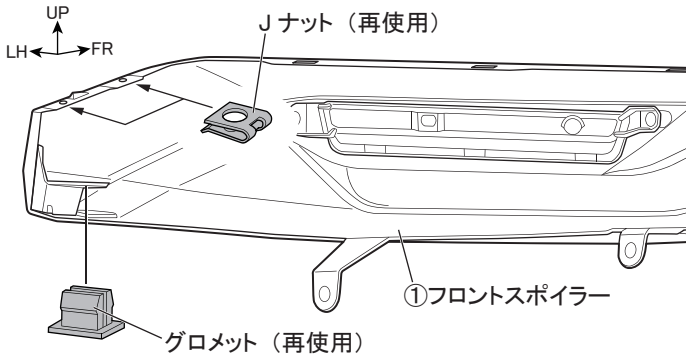
図 10



2. バッテリーのマイナス端子を取り付け、 イグニッション ON の状態にして①フロントスポイラー LED の点灯確認を行う。
   点灯確認後、 イグニッションを OFF にしてバッテリーのマイナス端子を外す。
3. ④ハーネスCを取り外す。

□フロントスポイラー取付要領

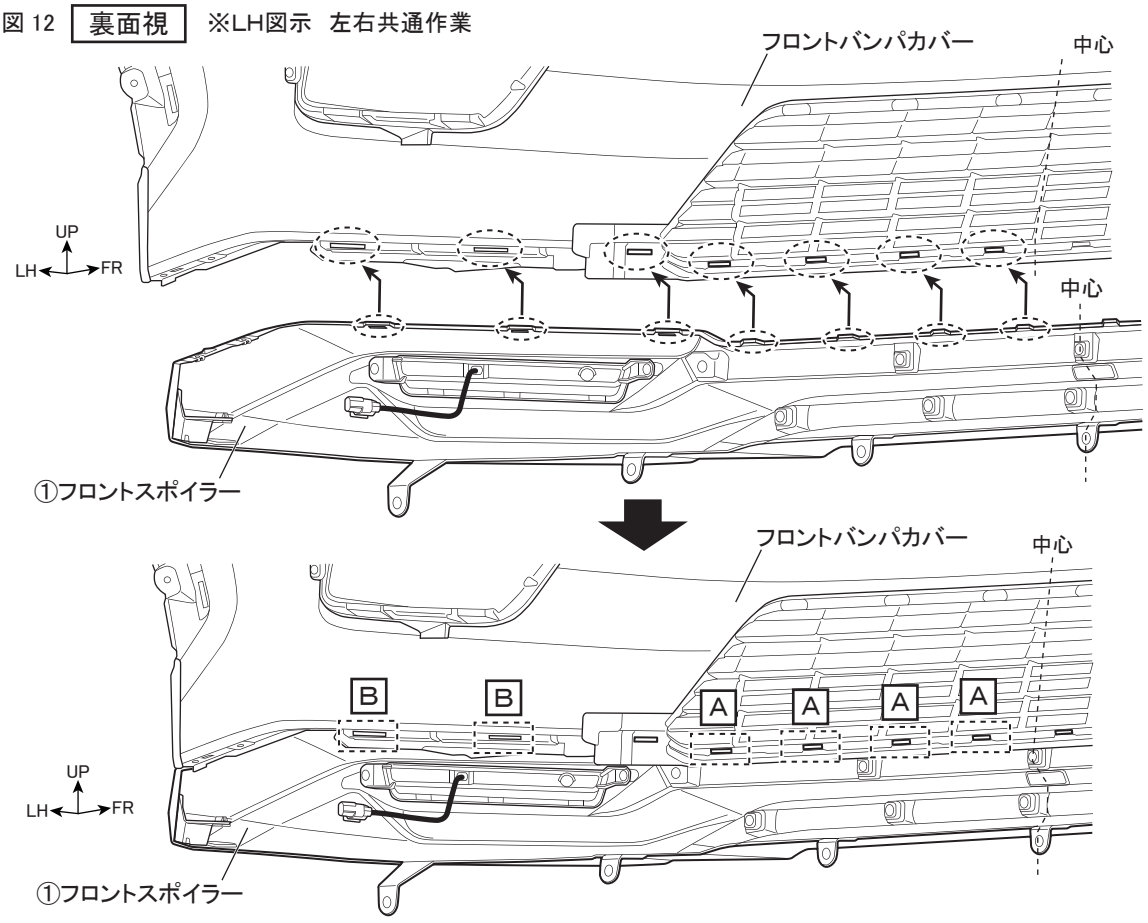
図 11 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



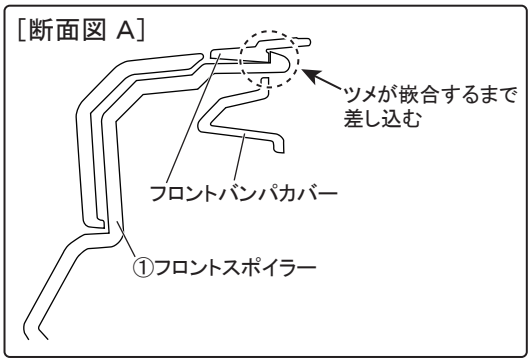
1. 図 11 のように □フロントスポイラー取付準備 でフロントバンパロアから取り外した車両 J ナット（左右各2箇所）、車両グロメット（左右各1箇所）を①フロントスポイラーに移設する。

2. 図 12 のように □フロントスポイラー取付準備 で取り外したフロントバンパカバーに①フロントスポイラーのツメ（左右各6箇所）、バンパークリップ固定用ガイド（左右各1箇所）を差し込む。

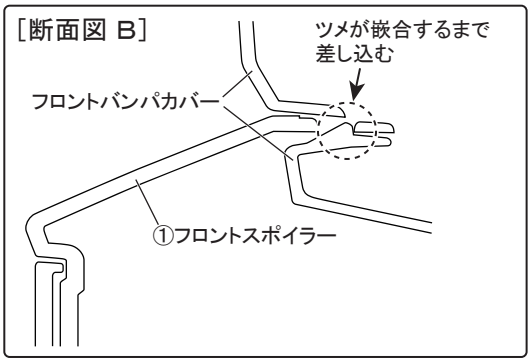
図 12 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



［断面図 A］

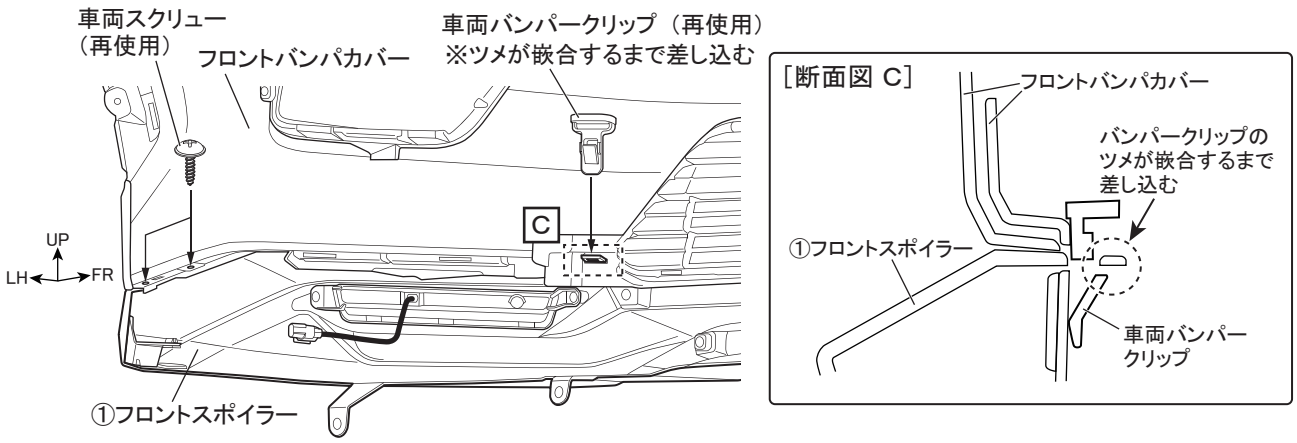


［断面図 B］



3. 図 13 のようにフロントバンパカバーと①フロントスポイラーを車両バンパークリップ（左右各1箇所）、 車両スクリュー（左右各2箇所）で固定する。

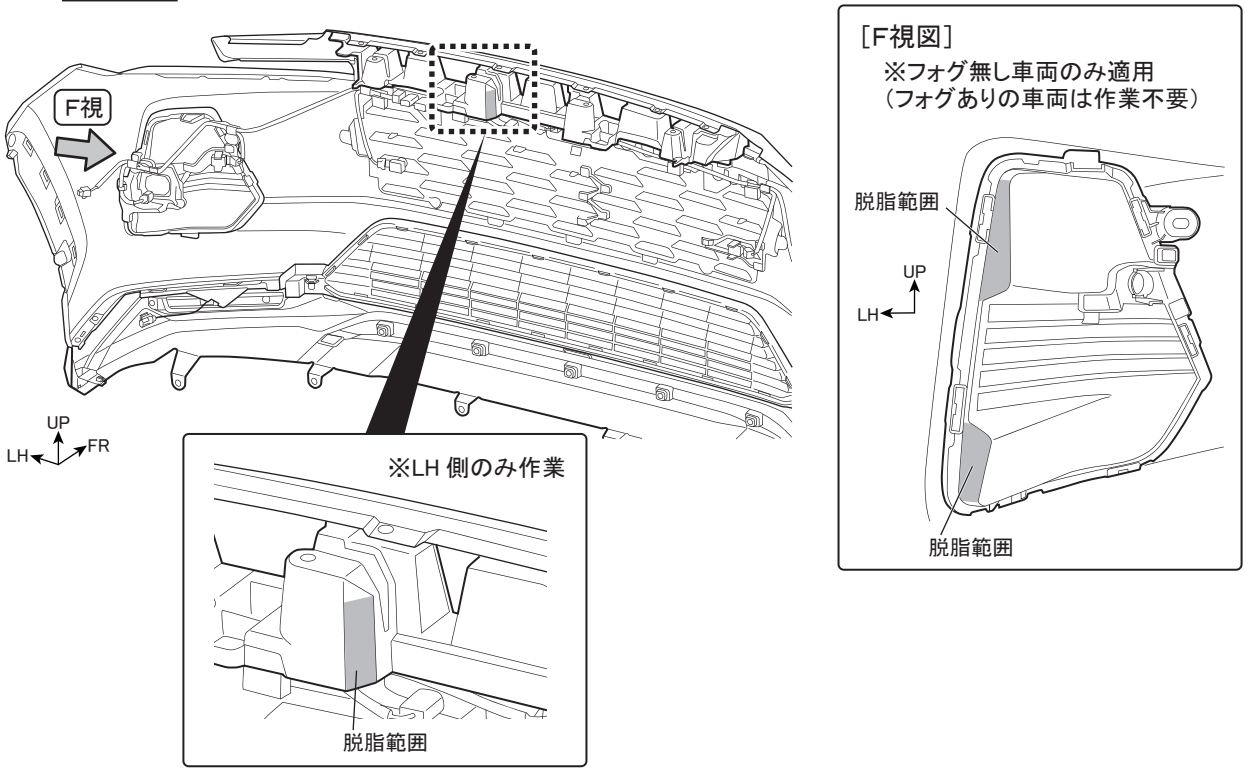
図 13 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



□ハーネス配策作業 -3

1. 図 14 のようにフロントバンパカバー裏面の⑤結束バンドベース貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。
（・フォグ有り車両 :LH側1箇所 ・フォグ無し車両 :LH側3箇所、RH側2箇所）

図 14 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



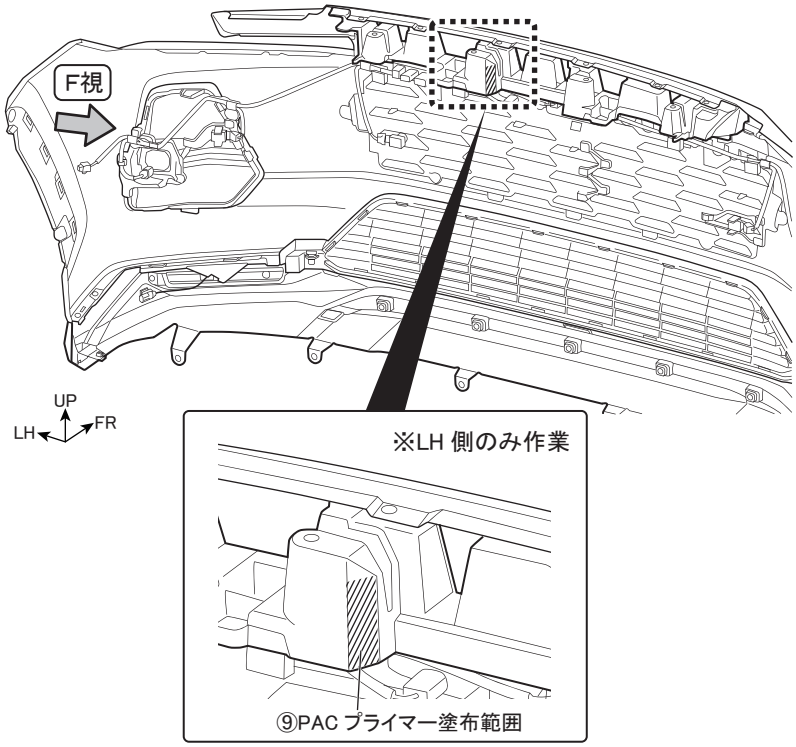
⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

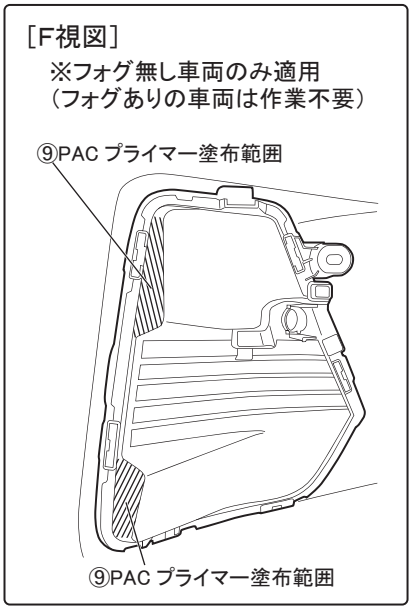
アドバイス : 脱脂作業を行う際は、 換気に注意して、 火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意 : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

2. 図 15 のようにフロントバンパカバー裏面の⑤結束バンドベース貼り付け部（下図斜線部）に⑨PAC プライマー（青袋）を塗布する。
（・フォグ有り車両 :LH側1箇所　・フォグ無し車両 :LH側3箇所、RH側2箇所）

図 15 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

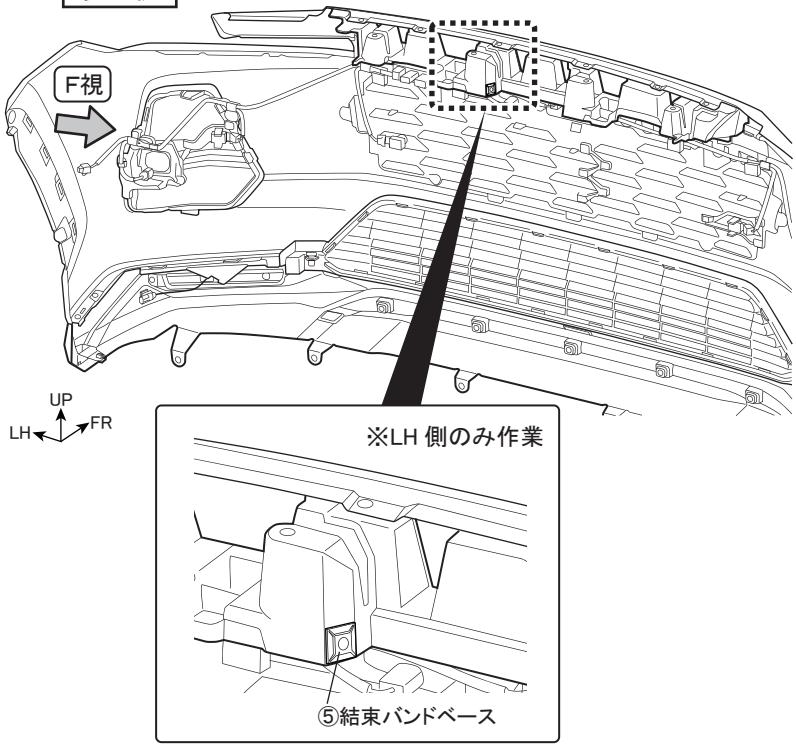


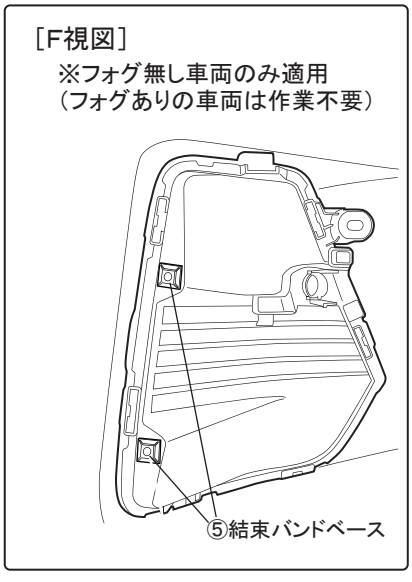


⚠注意 : プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、 直ちにイソプロピルアルコール（IPA）等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、 変色する事がありますので注意してください。

3. 図 16 のようにフロントバンパカバー裏面に⑤結束バンドベースを貼り付ける。
（・フォグ有り車両 :LH側1箇所　・フォグ無し車両 :LH側3箇所、RH側2箇所）

図 16 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

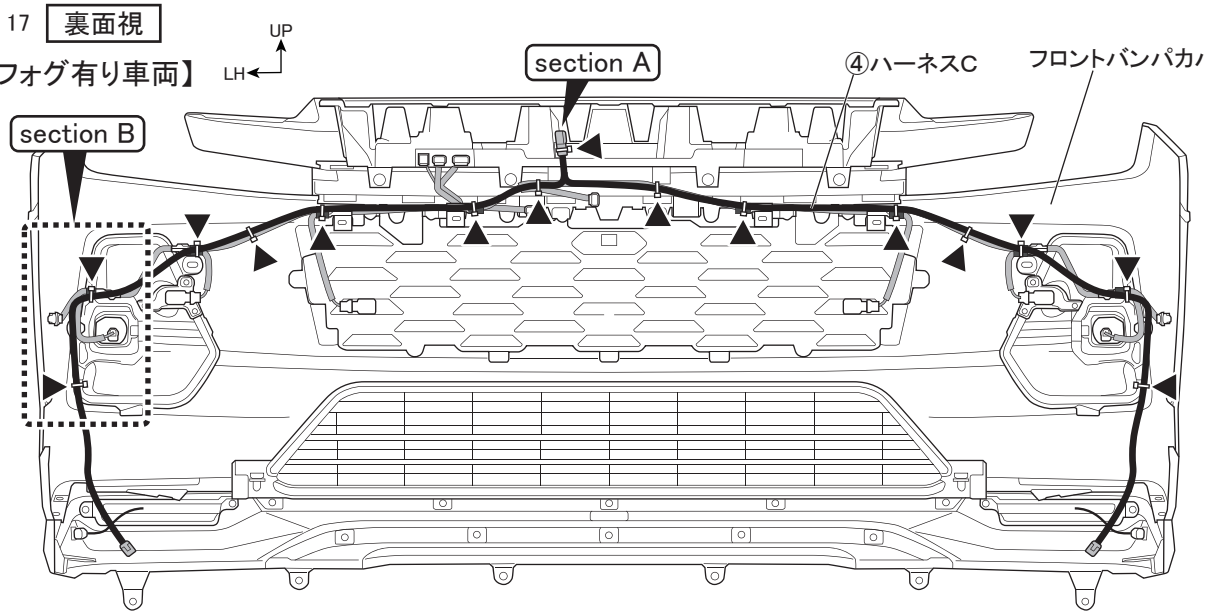


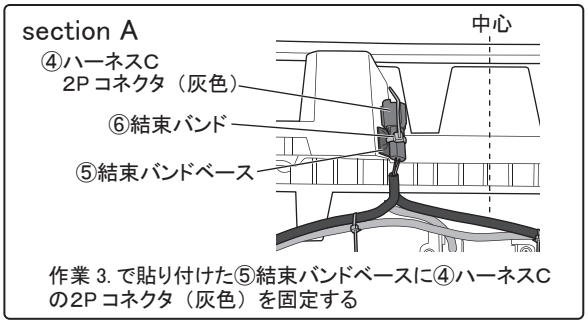


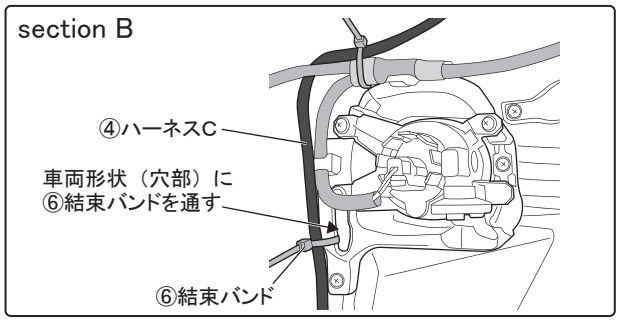
4. 図 17 のようにフロントバンパカバー裏面の車両ハーネスおよび、 作業 3. で貼り付けた⑤結束バンドベースに沿わせて④ハーネスCを配策し、⑥結束バンドで仮固定する。（下図▲印 : 中央1箇所、LH側8箇所、RH側7箇所）

図 17 裏面視

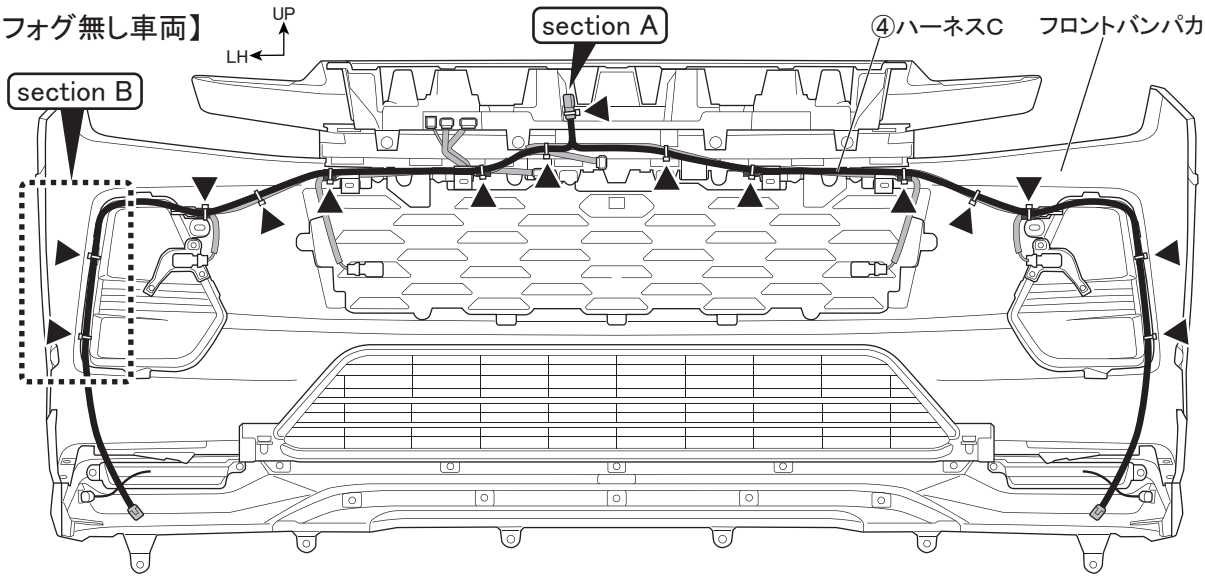
【フォグ有り車両】

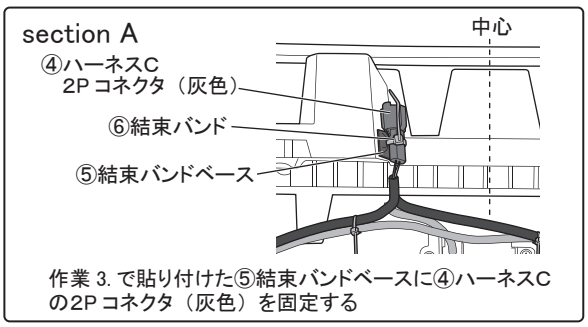


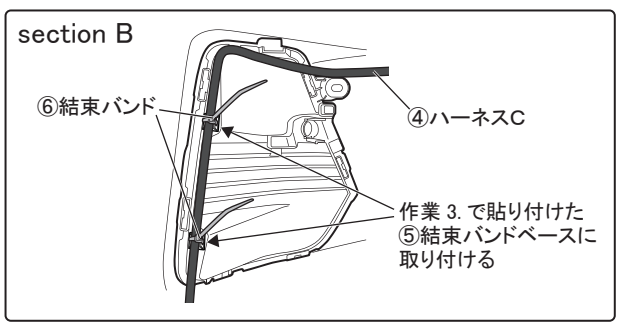




【フォグ無し車両】

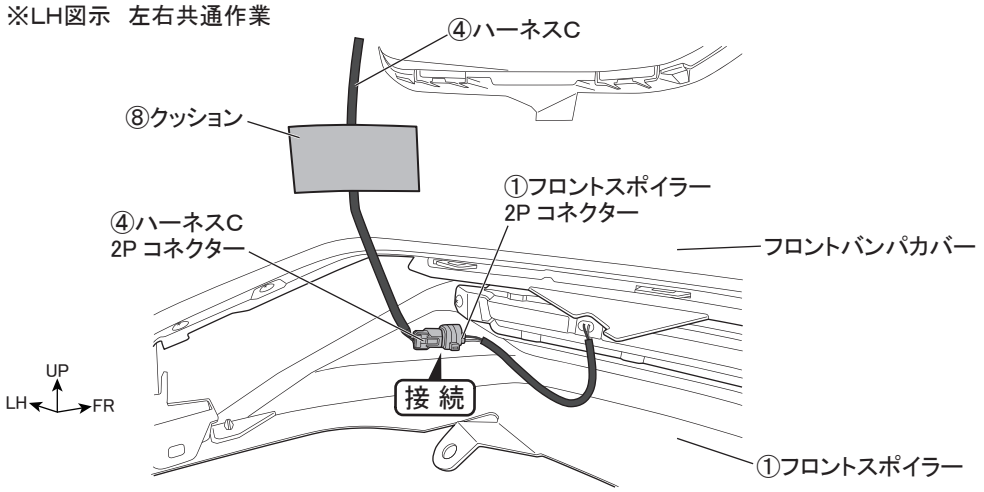






5. 図 18 のように④ハーネスCのコネクター（黒色）を①フロントスポイラーのコネクター（黒色）に接続し、 余長を調整して⑧クッションを貼り付ける。
その際、⑧クッション貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 18 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

アドバイス : 脱脂作業を行う際は、 換気に注意して、 火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意 : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

6. 作業 4. で仮締めした⑥結束バンドを本締めする。（15 箇所）

7. フロントフェンダーライナー（LH）を元に戻し、③ハーネスBの 2P コネクター（灰色）と④ハーネスCの 2P コネクター（灰色）を接続して該当車両の修理書に従い、フロントバンパを復元する。

8. 該当車両の修理書に従い、 助手席側の内装パネル類を復元する。

9. バッテリーのマイナス端子を取り付ける。

■フロントスポイラー取り付け後の確認・注意事項

・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、 噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
・イグニッション ON の状態にしてランプの点灯確認を行う。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、 各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 作業終了後は各システムの設定・確認を行ってください。
（車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定 / 作業」を参照）

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MSD41-42011-NP）の塗装前、 塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

⚠注意 : 本製品は下地処理として、 製品表面の面出しまで実施してあります。 塗装前の下地処理として、
足付け、 脱脂、 プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

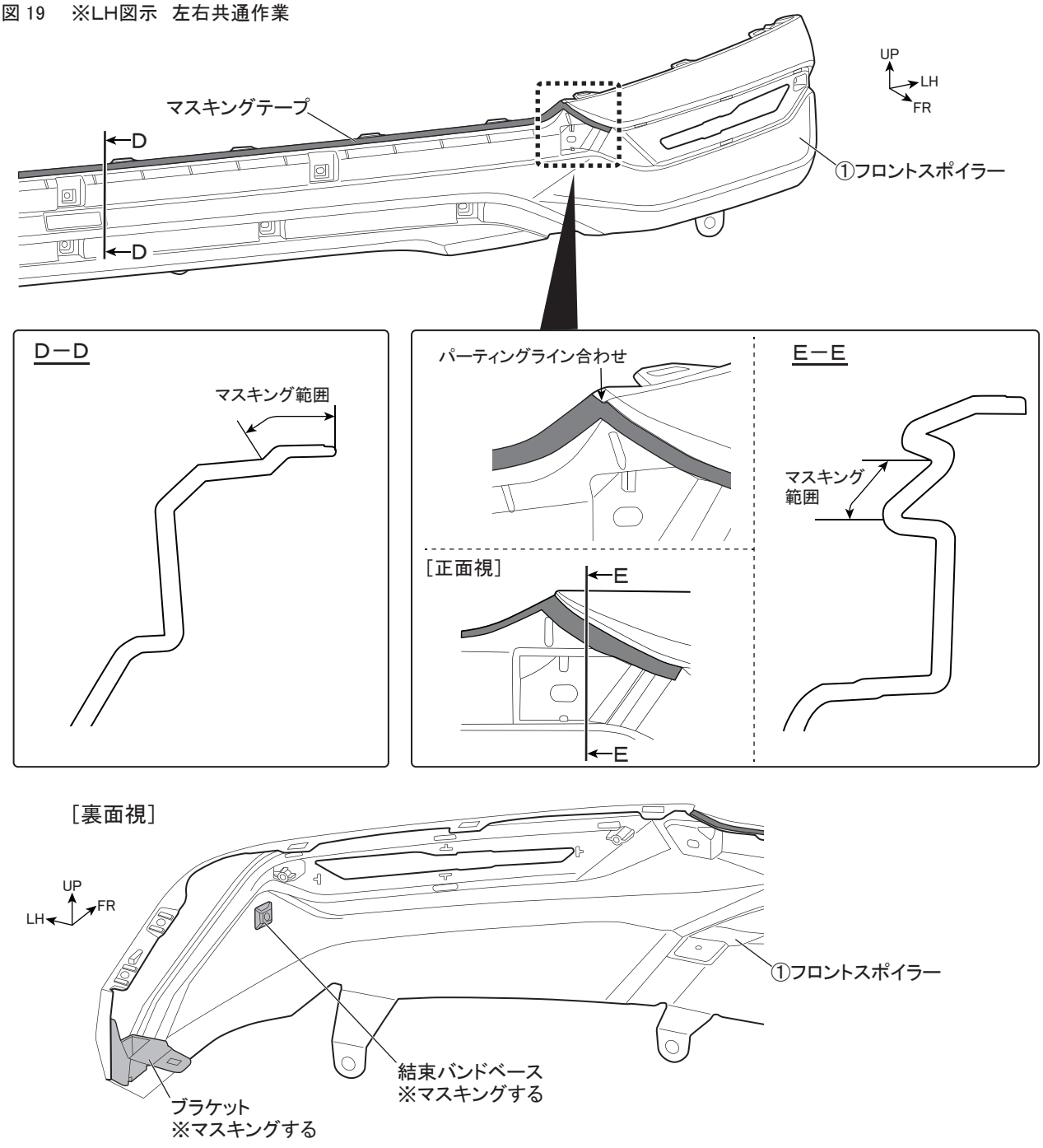
⚠注意 : プライマーは非電導性のものをご使用ください。

※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ フロントスポイラーの塗装

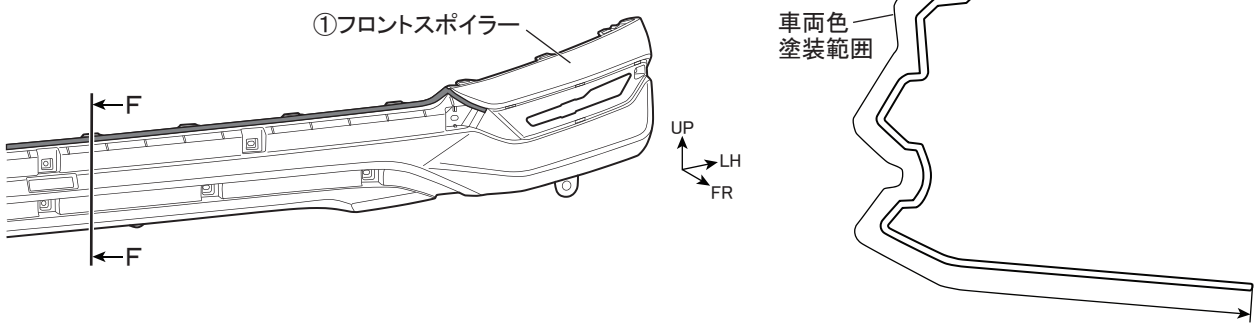
1. 図 19 のように①フロントスポイラー図示部をマスキングする。

図 19　※LH図示　左右共通作業



2. 図 20 のように①フロントスポイラーを車両色で塗装する。

図 20　※LH図示　左右共通作業

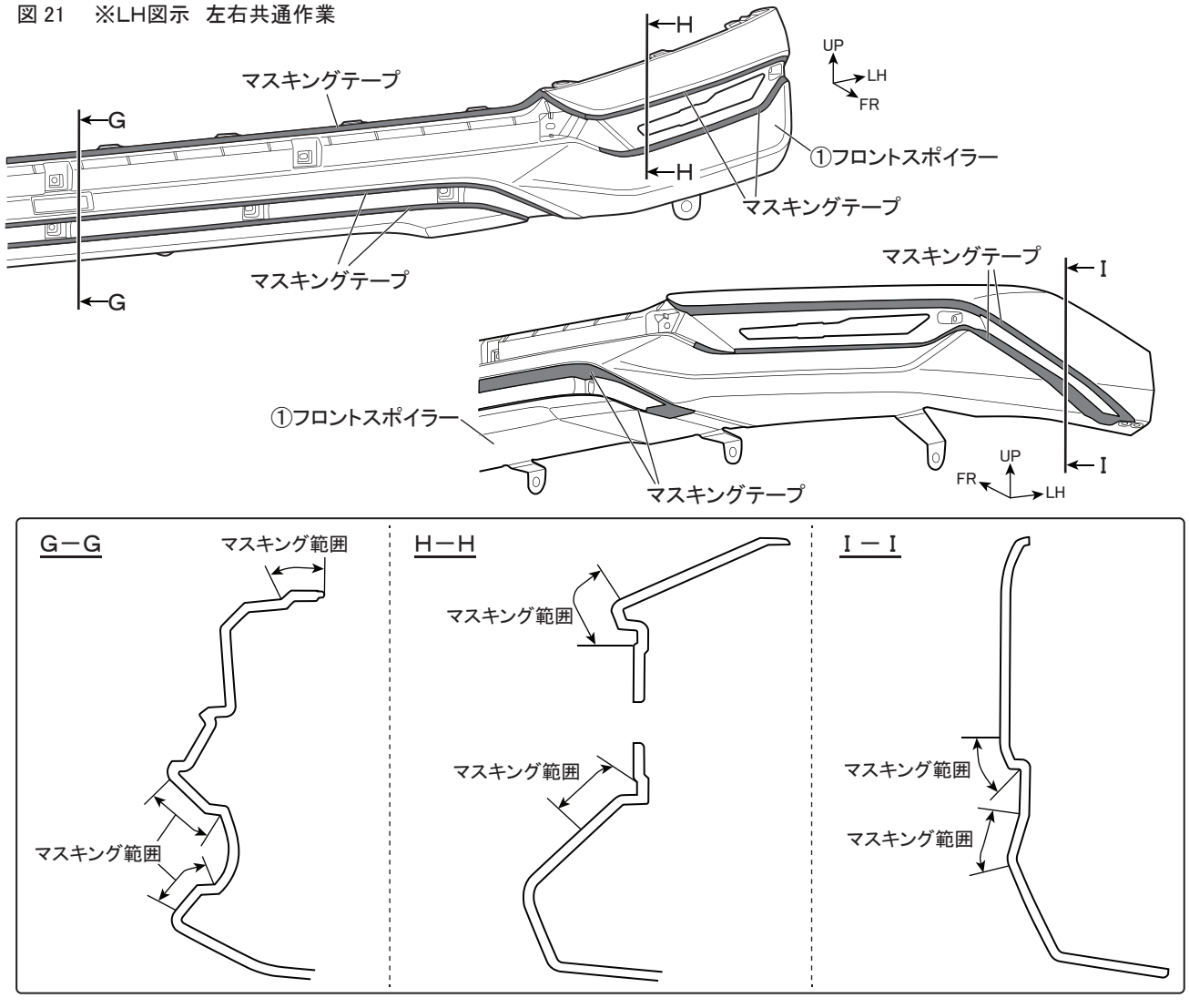


⚠注意 : 乾燥温度を 70℃以上に上げますと、 製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□ ガーニッシュの取付要領

1. 図 21 のように①フロントスポイラー図示部をマスキングする。

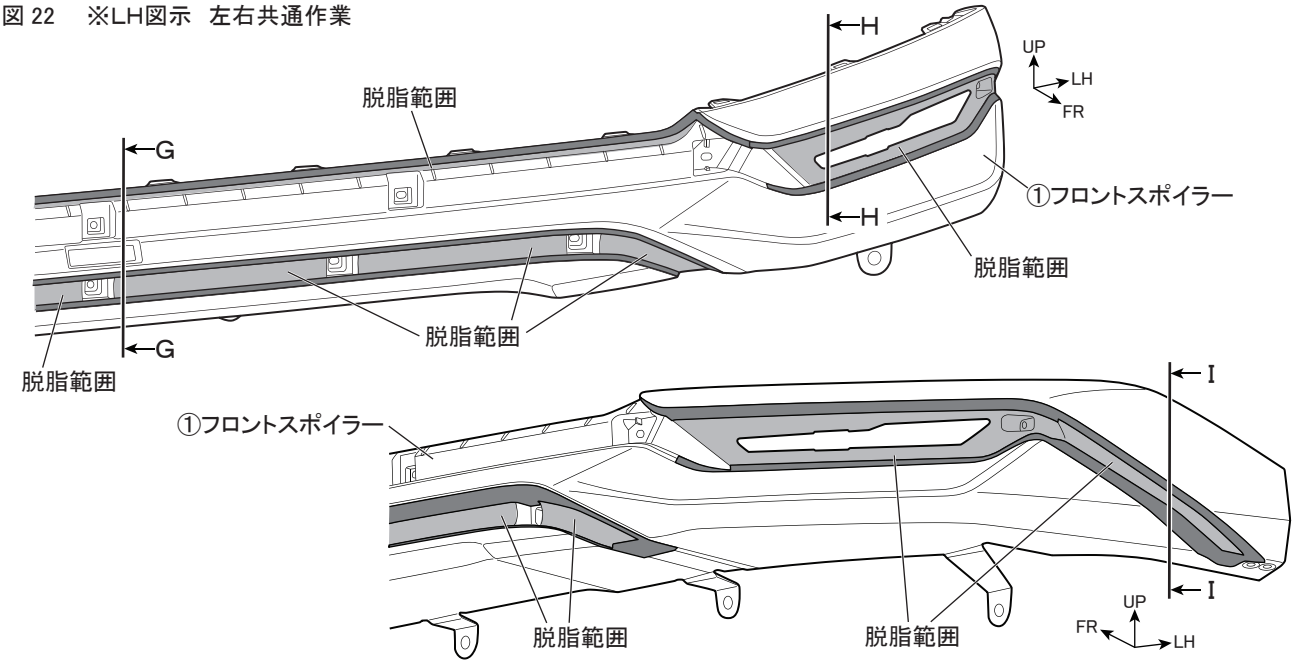
図 21　※LH図示　左右共通作業

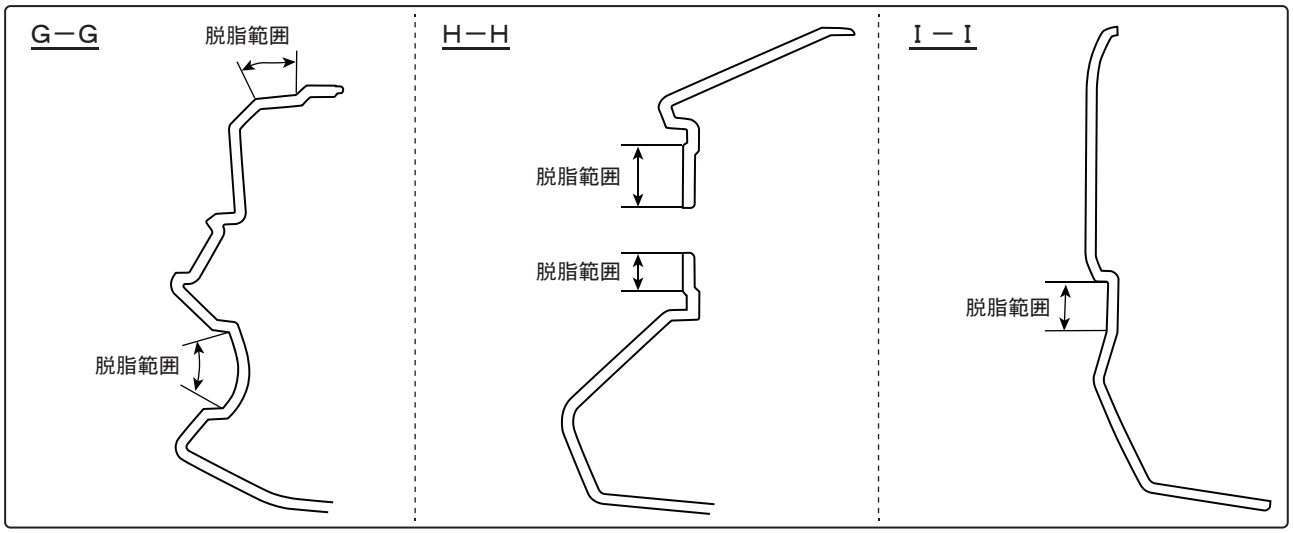


⚠注意 : プライマー塗布範囲のマスキングのため正確な位置出し、 マスキングを行ってください。

2. 図 22 のように①フロントスポイラーの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 22　※LH図示　左右共通作業





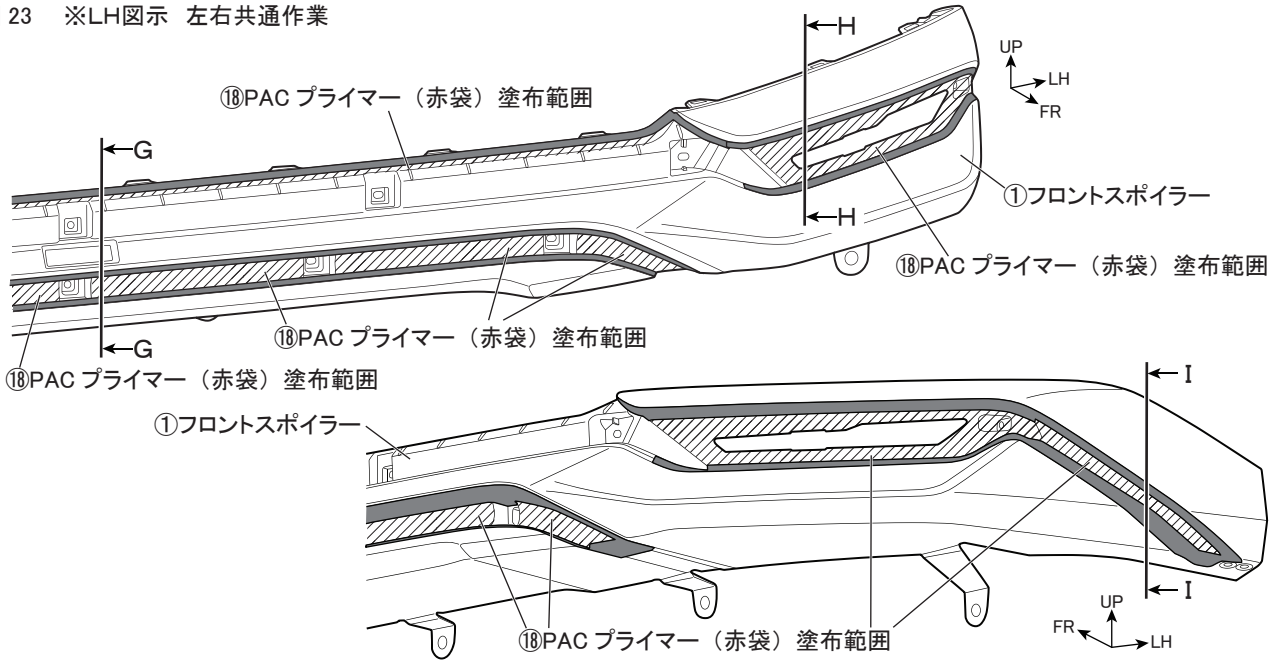
⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

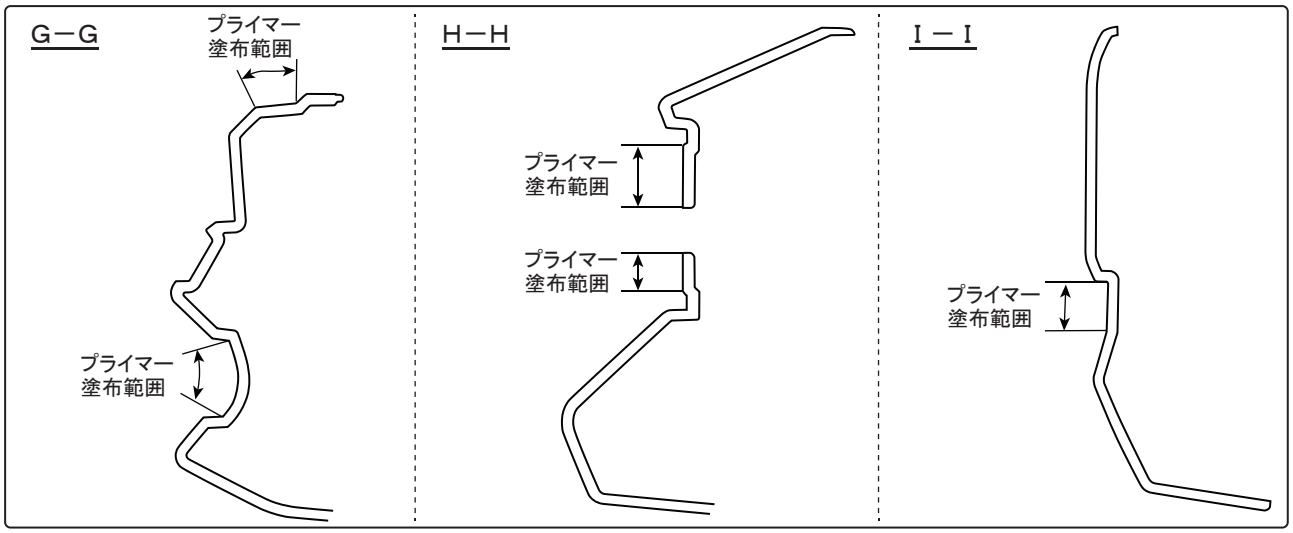
アドバイス : 脱脂作業を行う際は、 換気に注意して、 火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意 : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

3. 図 23 のように①フロントスポイラーの両面テープ貼り付け部（下図斜線部）に⑱PAC プライマー（赤袋）を塗布する。

図 23　※LH図示　左右共通作業



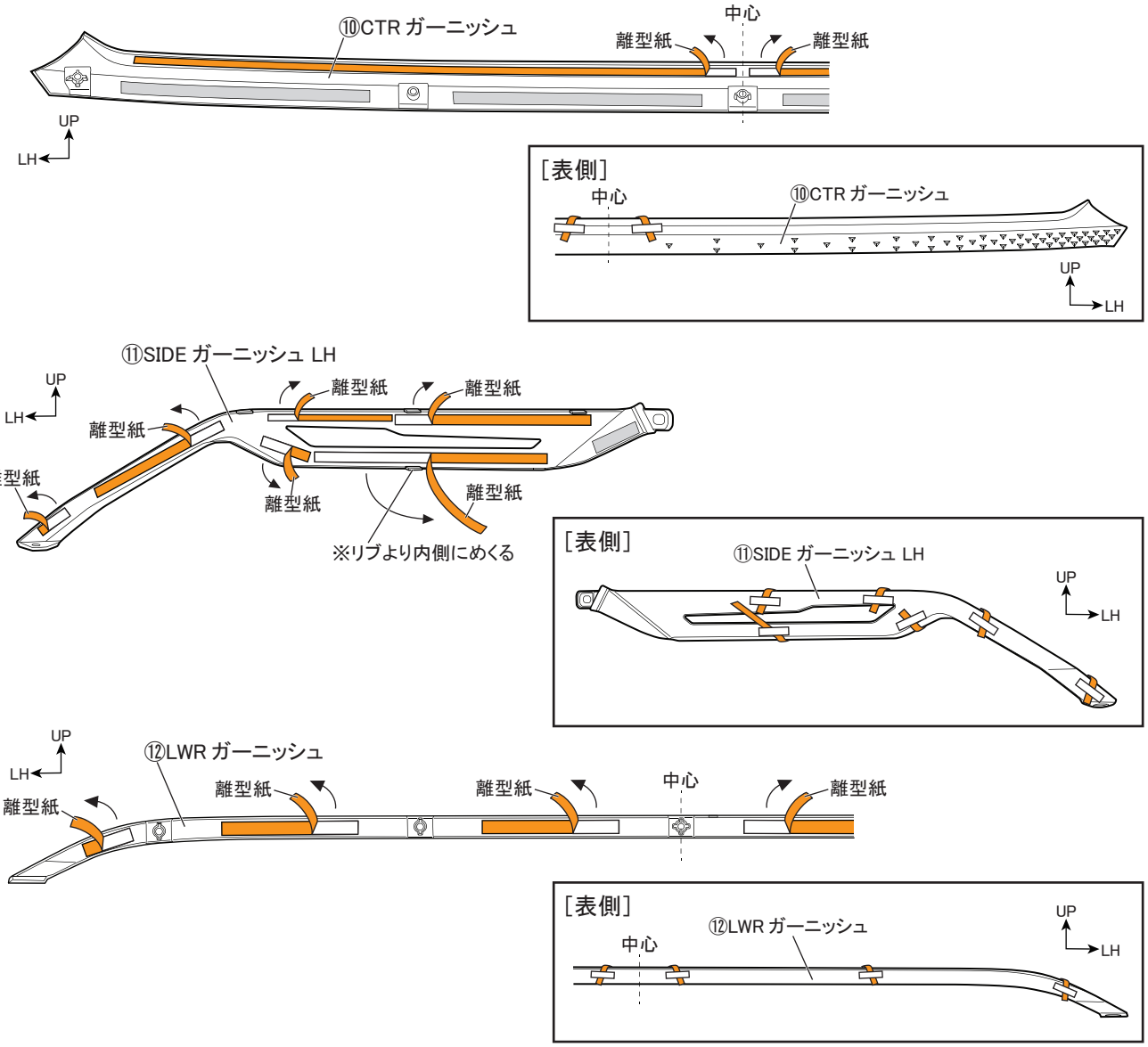


⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、 直ちにイソプロピルアルコール（IPA）等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、 変色する事がありますので注意してください。

4. マスキングテープを全て剥がす。

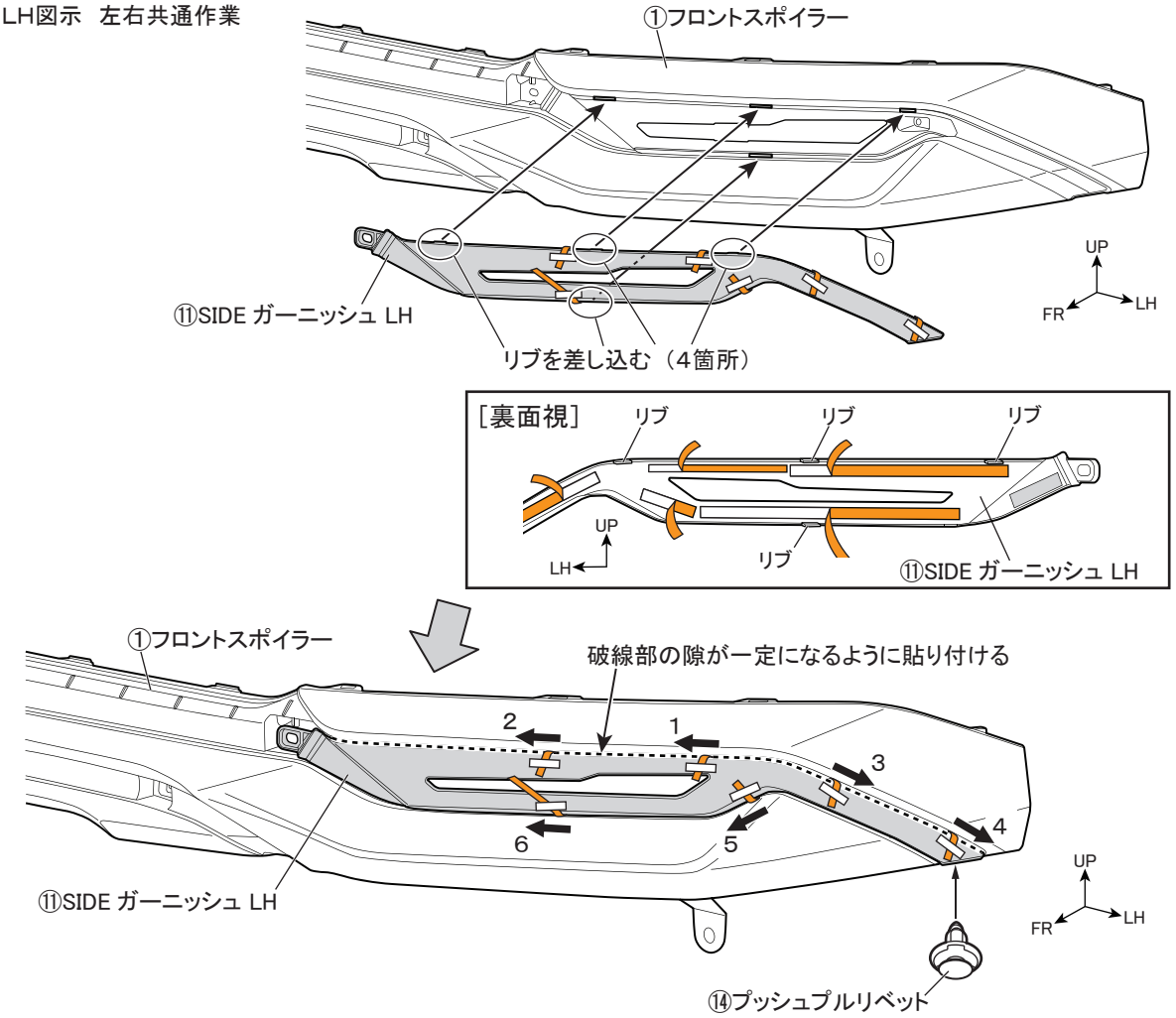
5. 図 24 のように⑩CTR ガーニッシュ、⑪SIDE ガーニッシュ（LH/RH）、⑫LWR ガーニッシュの両面テープの離型紙を矢印の方向にめくりマスキングテープ等で表側に貼り付ける。
（⑩CTR ガーニッシュ：左右各1箇所、⑪SIDE ガーニッシュ（LH/RH）：左右各6箇所、
⑫LWR ガーニッシ：左右各3箇所）

図 24 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



6. 図 25 のように⑪SIDE ガーニッシュ（LH/RH）を①フロントスポイラーに当て、 両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着し（左右各6箇所）、⑭プッシュプルリベット（左右各1箇所）で固定する。

図 25　※LH図示　左右共通作業

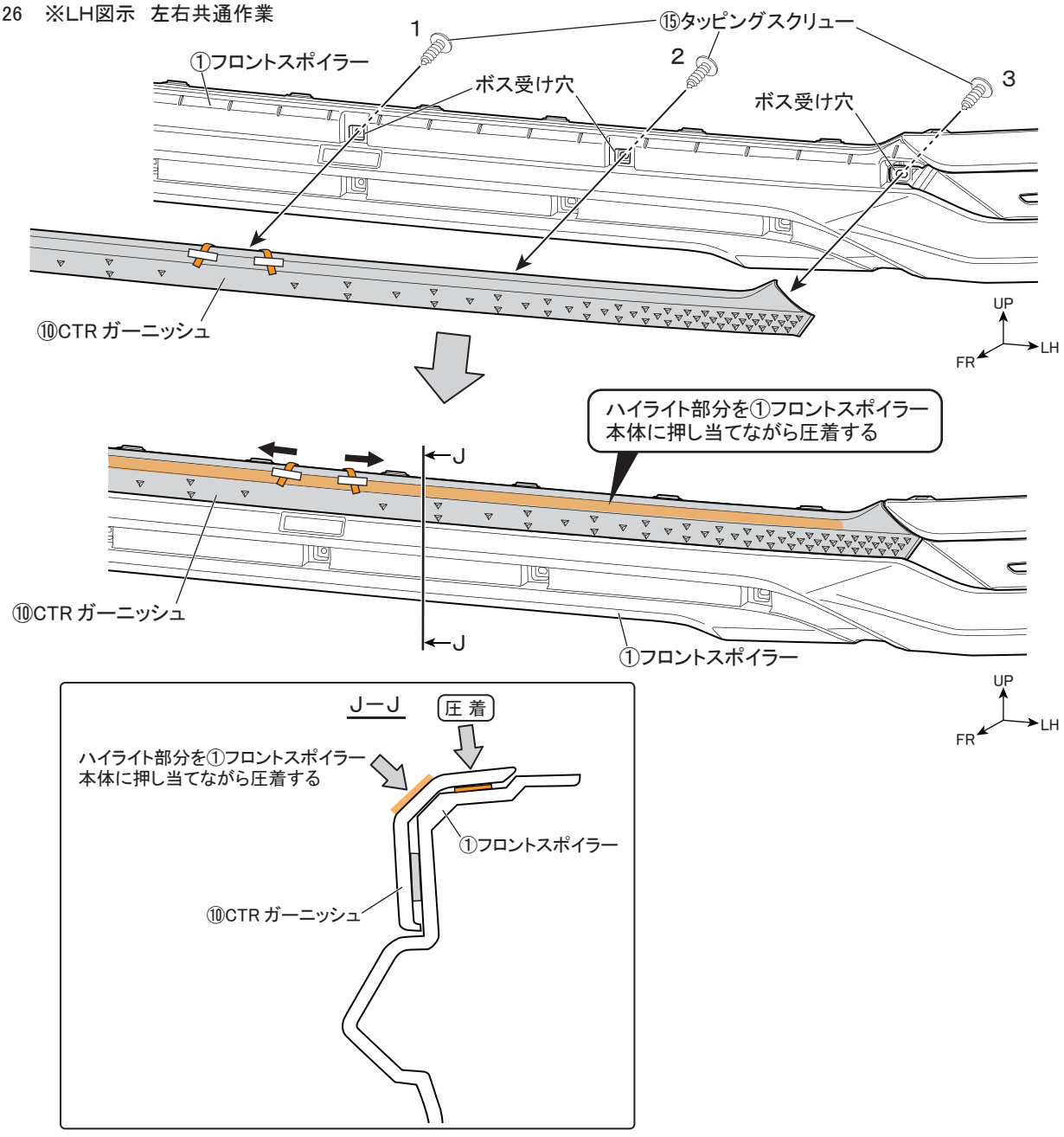


⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

⚠注意 : 両面テープの圧着は、 49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

7. 図 26 のように⑩CTR ガーニッシュを①フロントスポイラーに当て、⑮タッピングスクリューを番号順に仮締めし（中央1箇所、 左右各2箇所）、 両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各1箇所）

図 26　※LH図示　左右共通作業

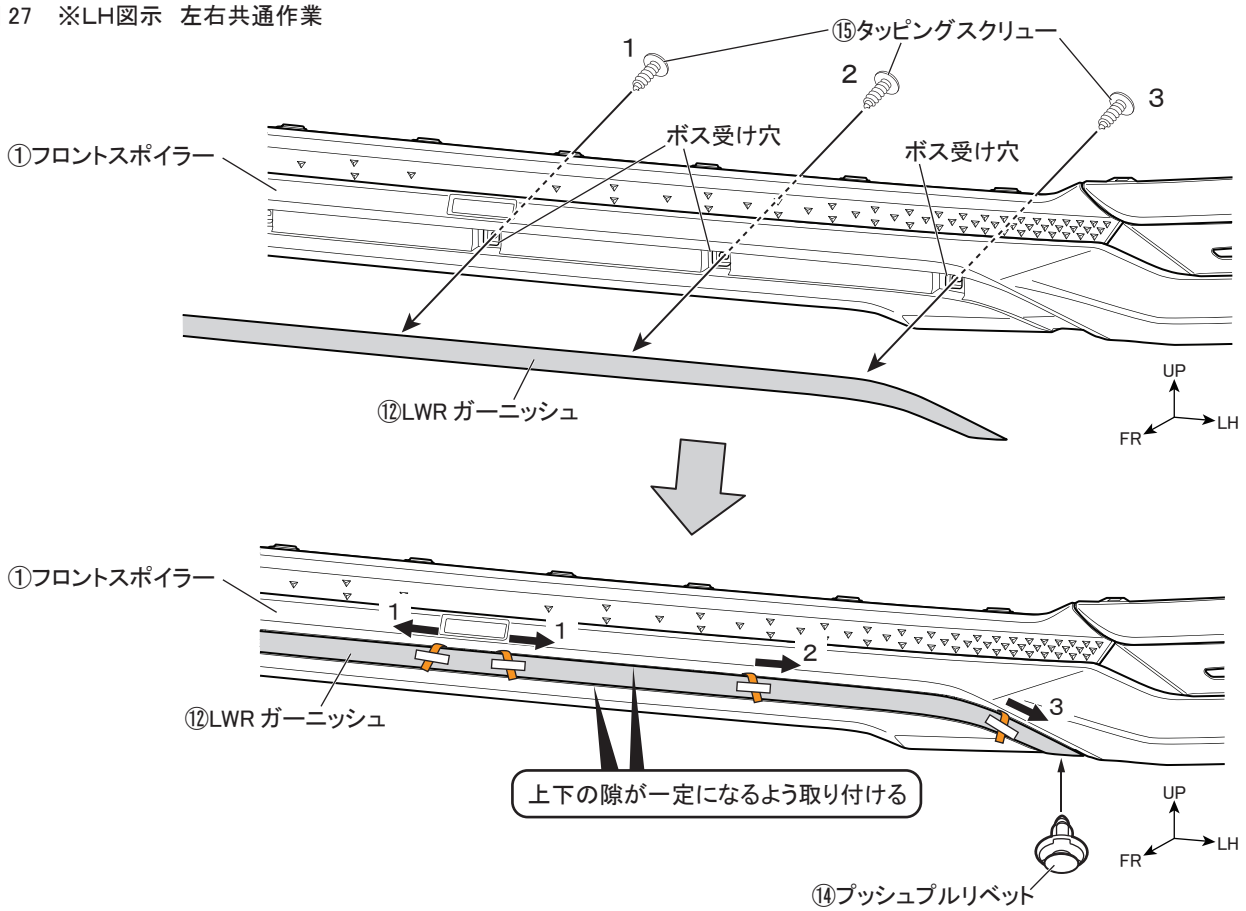


⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

⚠注意 : 両面テープの圧着は、 49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

8. 図 27 のように⑫LWR ガーニッシュを①フロントスポイラーに当て、⑮タッピングスクリューを番号順に仮締めし（中央1箇所、 左右各2箇所）、 両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着し（左右各3箇所）、⑭プッシュプルリベットで固定する。（左右各1箇所）

図 27　※LH図示　左右共通作業



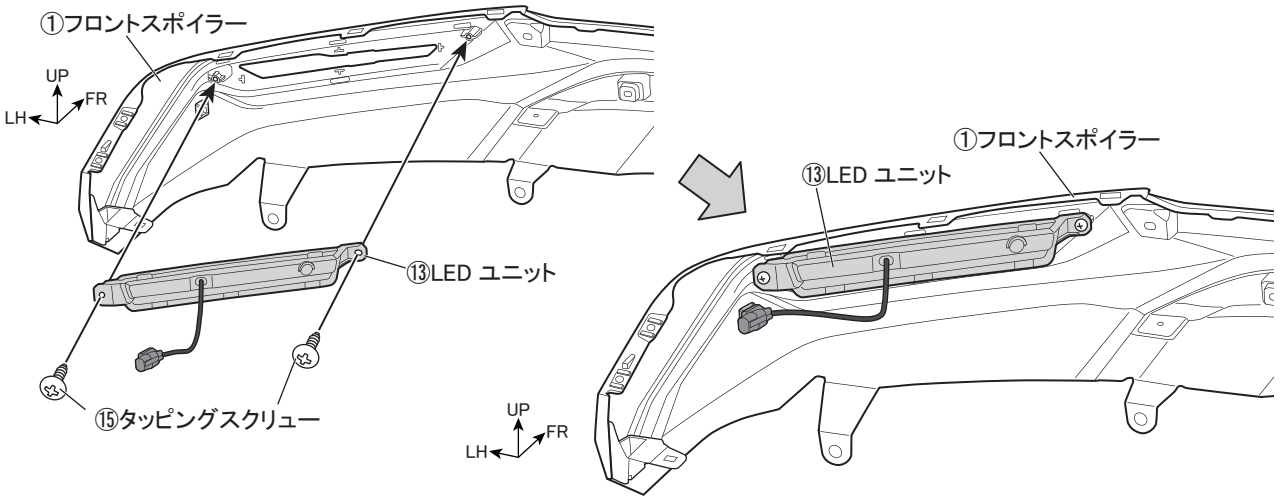
⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

⚠注意 : 両面テープの圧着は、 49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

9. 作業 7、 8 で仮締めした⑮タッピングスクリューを本締めする。（中央2箇所、 左右各4箇所）

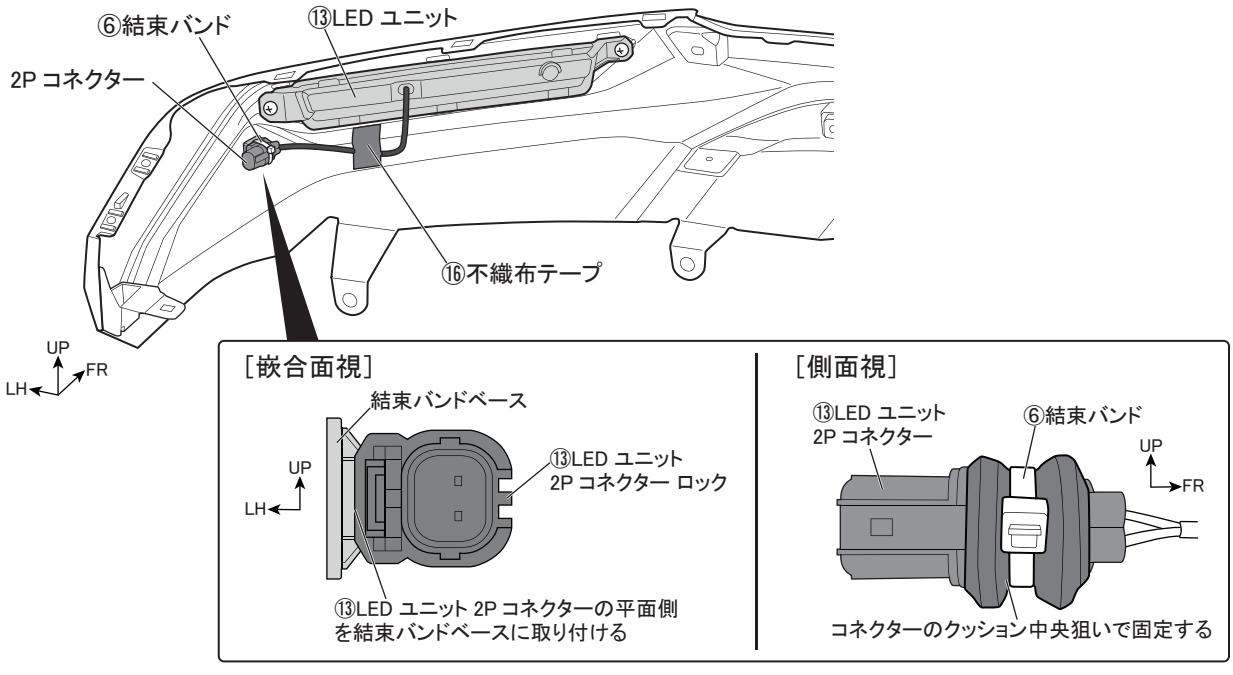
10. 図 28 のように⑬LED ユニットを①フロントスポイラーに当て、⑮タッピングスクリューで固定する。
（左右各2箇所）

図 28 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



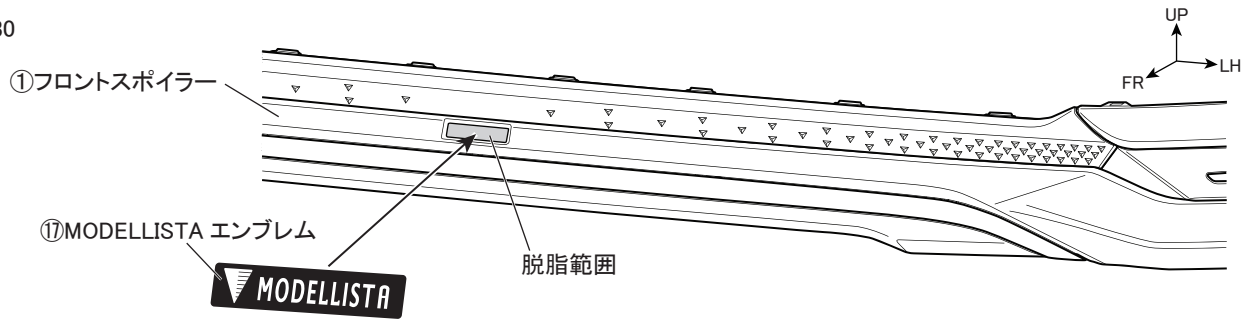
11. 図 29 のように⑬LED ユニットの 2P コネクター（黒色）を⑥結束バンドで結束バンドベースに固定する。
（左右各1箇所）
⑯不織布テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑬LED ユニットのハーネスの余長を調整して⑯不織布テープで固定する。（左右各1箇所）

図 29 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



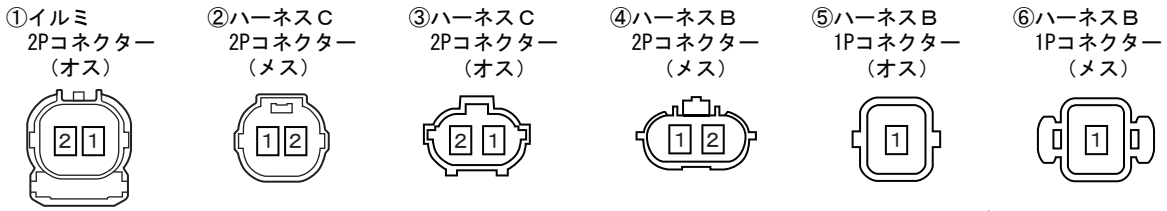
12. 図 30 のように⑰MODELLISTA エンブレムを①フロントスポイラーに貼り付ける。（1箇所）
その際、貼り付け部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 30

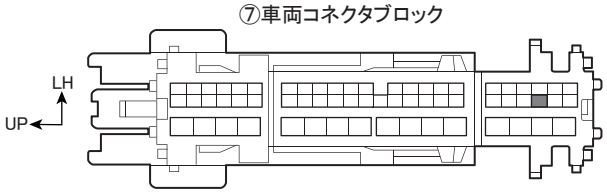


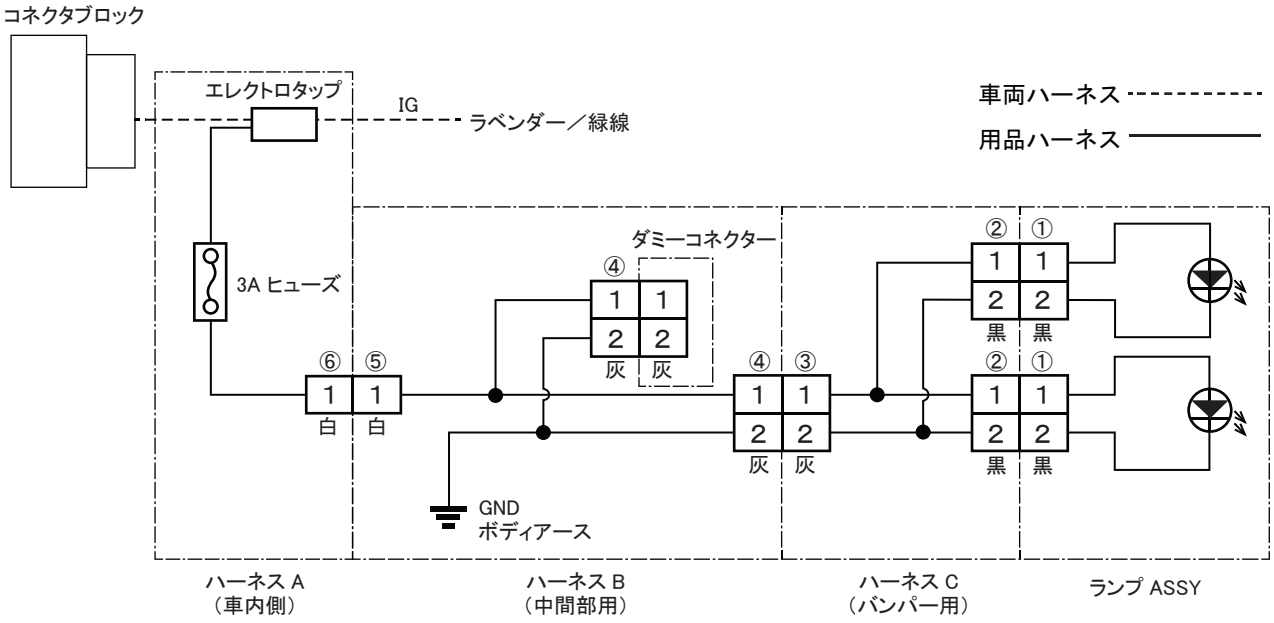
⚠注意 : 両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

配線図



※上記コネクター略図は、コネクター接続側を示しております。（ロック上側）





株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

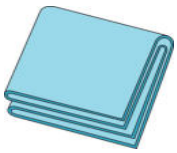
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

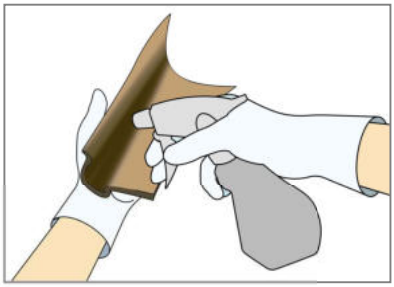

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

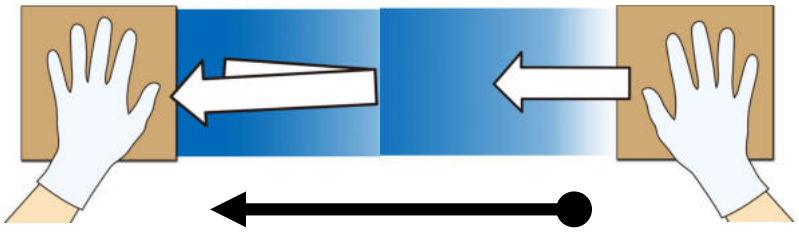


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

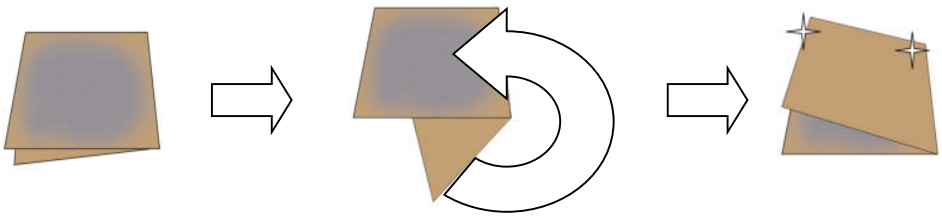
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。